

市民の生活状況に関する調査
-ひきこもり支援の充実に向けて-
結果報告書

令和6年6月

仙台市

目次

第1章 調査概要	1
調査概要	2
第2章 調査結果	3
1 調査回答総数	4
2 ひきこもり当事者の概要	14
(1) 年齢	15
(2) 性別	15
(3) 同居の有無	16
(4) ひきこもり期間について	16
(5) ひきこもるきっかけについて	18
(6) 困りごとについて	20
(7) 「きっかけ」と「困りごと」の選択個数	22
3 ひきこもり当事者の声	23
(1) 日常生活の不安について	23
(2) ひきこもり当事者が必要としていること	25
(3) ひきこもり当事者の相談相手について	27
(4) ひきこもり当事者の相談歴について	29
(5) ひきこもり当事者の近所付き合いについて	31
(6) ひきこもり当事者の外出の状況について	33
4 ひきこもり当事者の家族等の声	35
(1) 日常生活の不安について	35
(2) 相談相手について	37
(3) ひきこもり当事者にとって必要と考えることについて	39
(4) 家族等の近所付き合いについて	41
第3章 資料編	43
調査票	44

第1章 調査概要

調査概要

(1) 調査名称

市民の生活状況に関する調査 ―ひきこもり支援の充実に向けて―

(2) 調査対象

仙台市内に居住する 15 歳から 64 歳の方が属する全世帯

(3) 調査基準日

令和5年5月1日

(4) 調査対象世帯数

408,759世帯

(5) 調査方法

調査票をポスティングにより対象世帯に配付し、返信用ハガキ又は専用 web ページ上で回答をいただく。

(6) 調査期間

令和5年8月1日から令和6年3月31日まで

(7) 回答数

回答数 33,959 世帯(回答率 8.3%)

(内訳)郵送回答 16,507 世帯(48.6%)、インターネット回答 17,452 世帯(51.4%)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならないことがある。

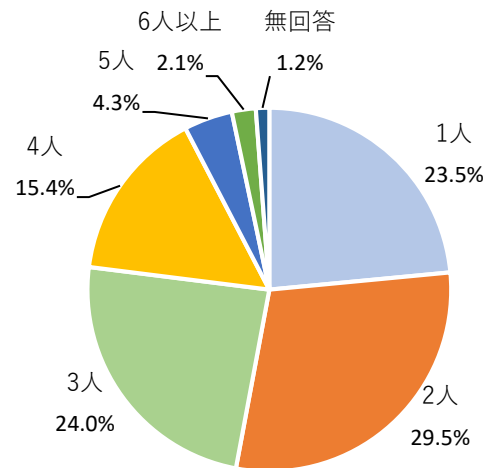
※複数回答可の設問の場合、回答数の合計は回答者数と一致しない。

第2章 調査結果

1 調査回答総数

Q1. あなたは現在何人で暮らしていますか（実際の人数を回答）

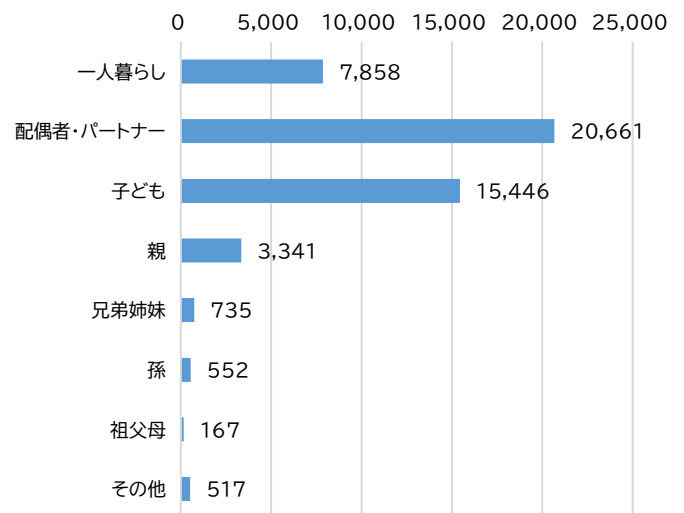
No	項目	回答数	割合
1	1人	7,976	23.5%
2	2人	10,004	29.5%
3	3人	8,165	24.0%
4	4人	5,221	15.4%
5	5人	1,467	4.3%
6	6人以上	722	2.1%
7	無回答	404	1.2%
合計		33,959	100.0%



・単身で暮らしている方が23.5%、2人以上で暮らしている方が75.3%

Q2. あなたは現在どなたと暮らしていますか（複数回答可）

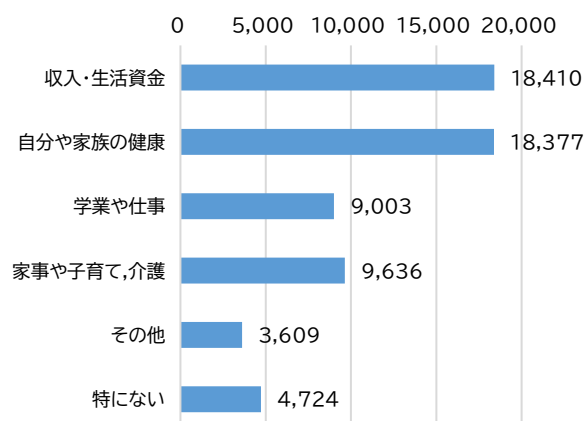
No	項目	回答数	割合
1	一人暮らし	7,858	23.1%
2	配偶者・パートナー	20,661	60.8%
3	子ども	15,446	45.5%
4	親	3,341	9.8%
5	兄弟姉妹	735	2.2%
6	孫	552	1.6%
7	祖父母	167	0.5%
8	その他	517	1.5%
回答者数		33,959	



・「配偶者・パートナー」と暮らしているが60.8%、次いで「子ども」と暮らしているが45.5%、「一人暮らし」が23.1%と続く

Q3. あなたが日常生活において不安や悩みに思っている事柄は何ですか（複数回答可）

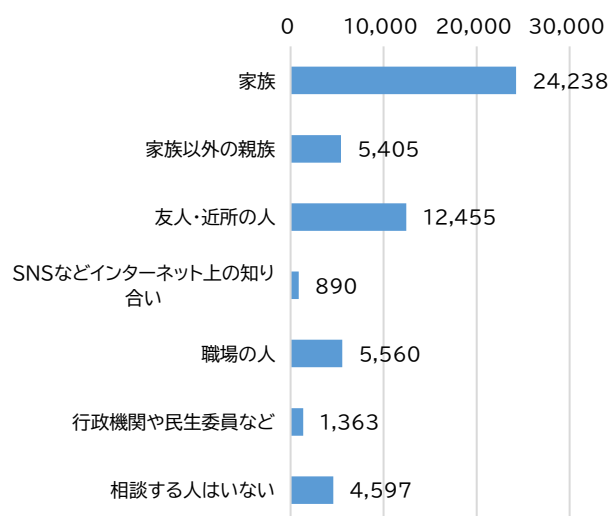
No	項目	回答数	割合
1	収入・生活資金	18,410	54.2%
2	自分や家族の健康	18,377	54.1%
3	学業や仕事	9,003	26.5%
4	家事や子育て,介護	9,636	28.4%
5	その他	3,609	10.6%
6	特にない	4,724	13.9%
回答者数		33,959	



- ・「収入・生活資金」が 54.2%、次いで「自分や家族の健康」が 54.1%、「家事や子育て, 介護」が 28.4%と続く

Q4. あなたは日常生活の不安や悩みを誰に相談していますか（複数回答可）

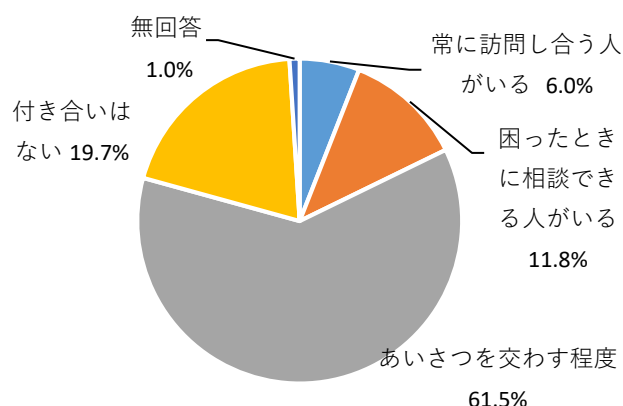
No	項目	回答数	割合
1	家族	24,238	71.4%
2	家族以外の親族	5,405	15.9%
3	友人・近所の人	12,455	36.7%
4	SNS などインターネット上の知り合い	890	2.6%
5	職場の人	5,560	16.4%
6	行政機関や民生委員など	1,363	4.0%
7	相談する人はいない	4,597	13.5%
回答者数		33,959	



- ・「家族」が 71.4%、次いで「友人・近所の人」が 36.7%、「職場の人」が 16.4%と続く

Q5. あなたのご近所の方との付き合いについてお聞きします

No	項目	回答数	割合
1	常に訪問し合う人がある	2,024	6.0%
2	困ったときに相談できる人がある	4,014	11.8%
3	あいさつを交わす程度	20,885	61.5%
4	付き合いはない	6,693	19.7%
5	無回答	343	1.0%
合計		33,959	100.0%



- ・「あいさつを交わす程度」が61.5%、次いで「付き合いはない」が19.7%、「困ったときに相談できる人がある」が11.8%と続く

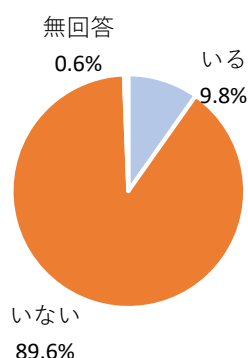
Q6. あなたの世帯で「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方は、現時点で何人いますか（実際の人数を回答）

No	人数	回答数	割合※1	人数合計 (人数×回答数)
1	0人	30,428	89.6%	—
2	1人	2,921	8.6%	2,921
3	2人	307	0.9%	614
4	3人	57	0.2%	171
5	4人	11	0.03%	44
6	5人	8	0.02%	40
7	6人以上	21※2	0.06%	166
8	無回答	206	0.6%	—
合計		33,959	100.0%	3,956

※1 「4人」「5人」「6人以上」の割合については、小数点第3位を四捨五入。

※2 6人以上(7人、8人など)の回答を合計したもの

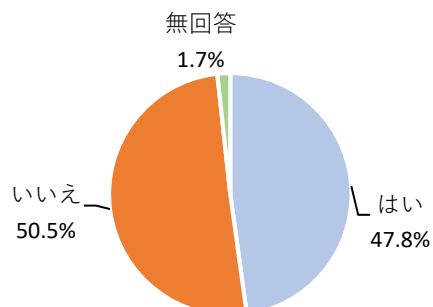
No	項目	回答数	割合
1	いる	3,325	9.8%
2	いない	30,428	89.6%
3	無回答	206	0.6%
合計		33,959	100.0%



- ・ひきこもり状態（仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態）にあてはまる方がいる世帯は、3,325世帯であった
- ・ひきこもり状態（仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態）にあてはまる方は、3,956人であった

Q7. この調査票に回答している方は、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方ご本人ですか（Q6を1人以上で回答した人が対象）

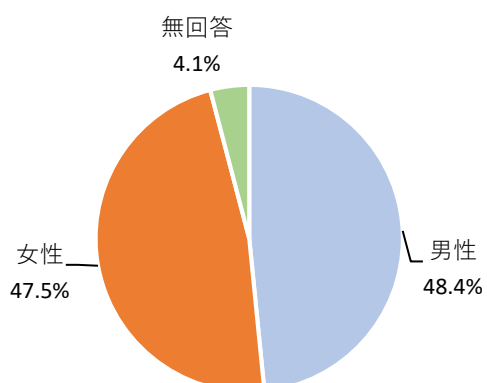
No	項目	回答数	割合
1	はい	1,590	47.8%
2	いいえ	1,678	50.5%
3	無回答	57	1.7%
合計		3,325	100.0%



・ 本人（はい）の回答が 47.8%、本人以外（いいえ）が 50.5%であった

Q8. 性別をお答えください（Q6を1人以上で回答した人が対象）

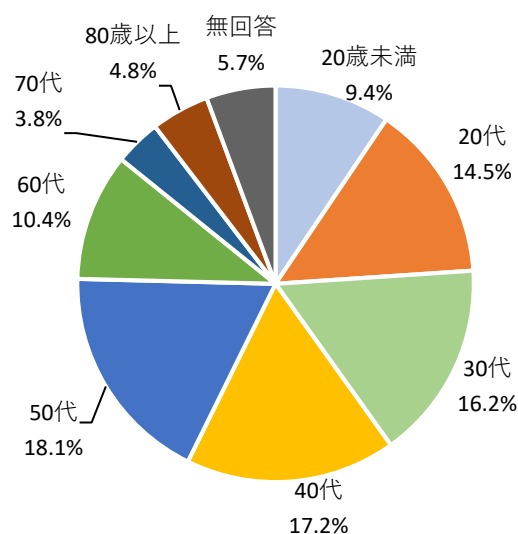
No	項目	回答数	割合
1	男性	1,610	48.4%
2	女性	1,579	47.5%
3	無回答	136	4.1%
合計		3,325	100.0%



・ 男性が 48.4%、女性が 47.5%であった

Q9. 年齢をお答えください（Q6を1人以上で回答した人が対象）

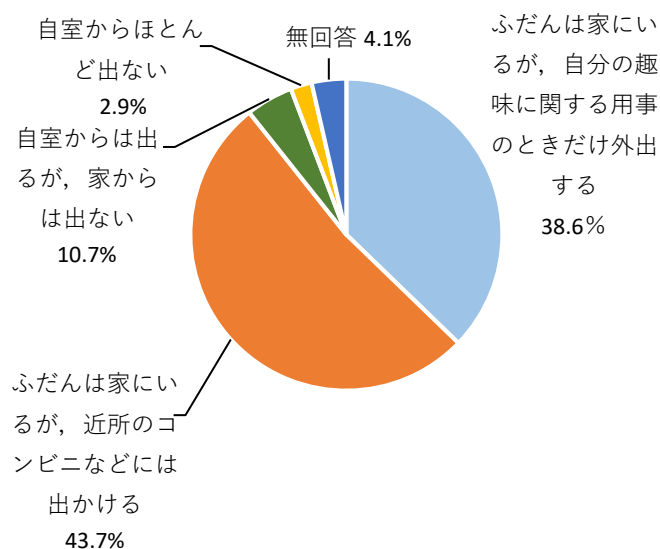
No	項目	回答数	割合
1	20歳未満	314	9.4%
2	20代	482	14.5%
3	30代	538	16.2%
4	40代	571	17.2%
5	50代	602	18.1%
6	60代	346	10.4%
7	70代	126	3.8%
8	80歳以上	158	4.8%
9	無回答	188	5.7%
合計		3,325	100.0%



・50代が18.1%、次いで40代が17.2%、30代が16.2%と続く

Q10. 外出の状況についてお答えください（Q6を1人以上で回答した人が対象）

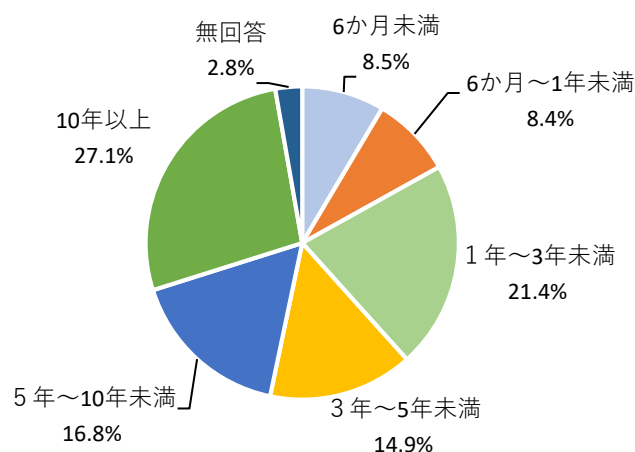
No	項目	回答数	割合
1	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	1,285	38.6%
2	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	1,453	43.7%
3	自室からは出るが、家からは出ない	353	10.7%
4	自室からほとんど出ない	98	2.9%
5	無回答	136	4.1%
合計		3,325	100.0%



・「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が43.7%、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が38.6%、「自室からは出るが、家からは出ない」が10.7%と続く

Q11. 現在の状況になって、どのくらいになりますか（Q6を1人以上で回答した人が対象）

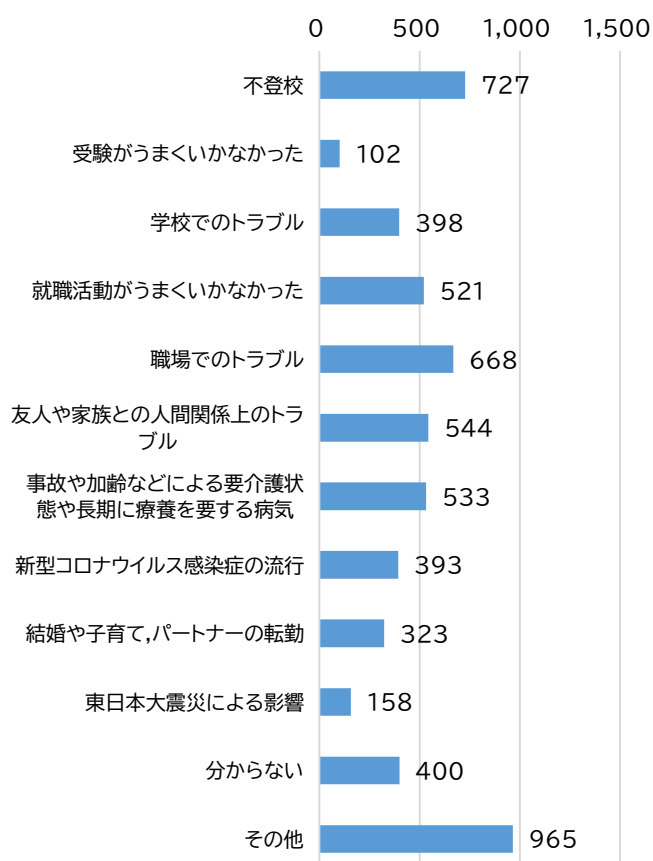
No	項目	回答数	割合
1	6か月未満	284	8.5%
2	6か月～1年未満	279	8.4%
3	1年～3年未満	712	21.4%
4	3年～5年未満	497	14.9%
5	5年～10年未満	560	16.8%
6	10年以上	901	27.1%
7	無回答	92	2.8%
合計		3,325	100.0%



- ・「10年以上」が27.1%、次いで「1年～3年未満」が21.4%、「5年～10年未満」が16.8%と続く

Q12. 現在の状況に至ったきっかけについてお答えください（複数回答可）
（Q6を1人以上で回答した人が対象）

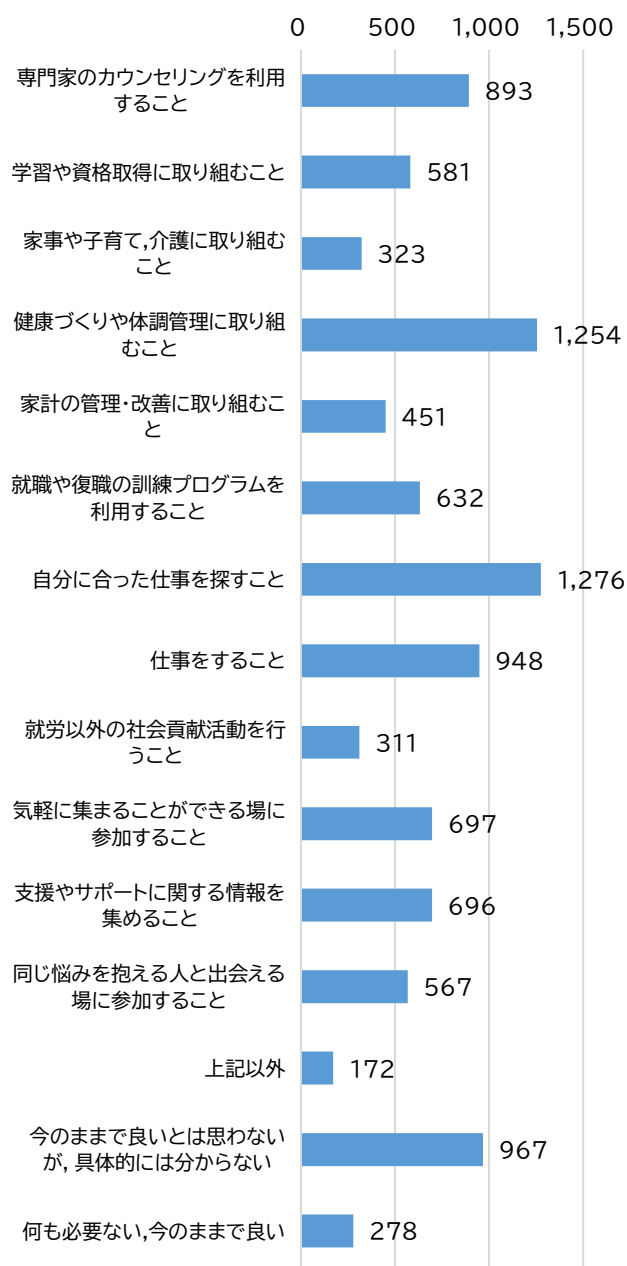
No	項目	回答数	割合
1	不登校	727	21.9%
2	受験がうまくいかなかった	102	3.1%
3	学校でのトラブル	398	12.0%
4	就職活動がうまくいかなかった	521	15.7%
5	職場でのトラブル	668	20.1%
6	友人や家族との人間関係上のトラブル	544	16.4%
7	事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気	533	16.0%
8	新型コロナウイルス感染症の流行	393	11.8%
9	結婚や子育て、パートナーの転勤	323	9.7%
10	東日本大震災による影響	158	4.8%
11	分からない	400	12.0%
12	その他	965	29.0%
回答者数		3,325	



- ・「不登校」が21.9%、次いで「職場でのトラブル」が20.1%、「友人や家族との人間関係上のトラブル」が16.4%と続く

Q13. これからのあなたにとって必要なことはありますか（複数回答可）
（Q 6 を1人以上で回答した人が対象）

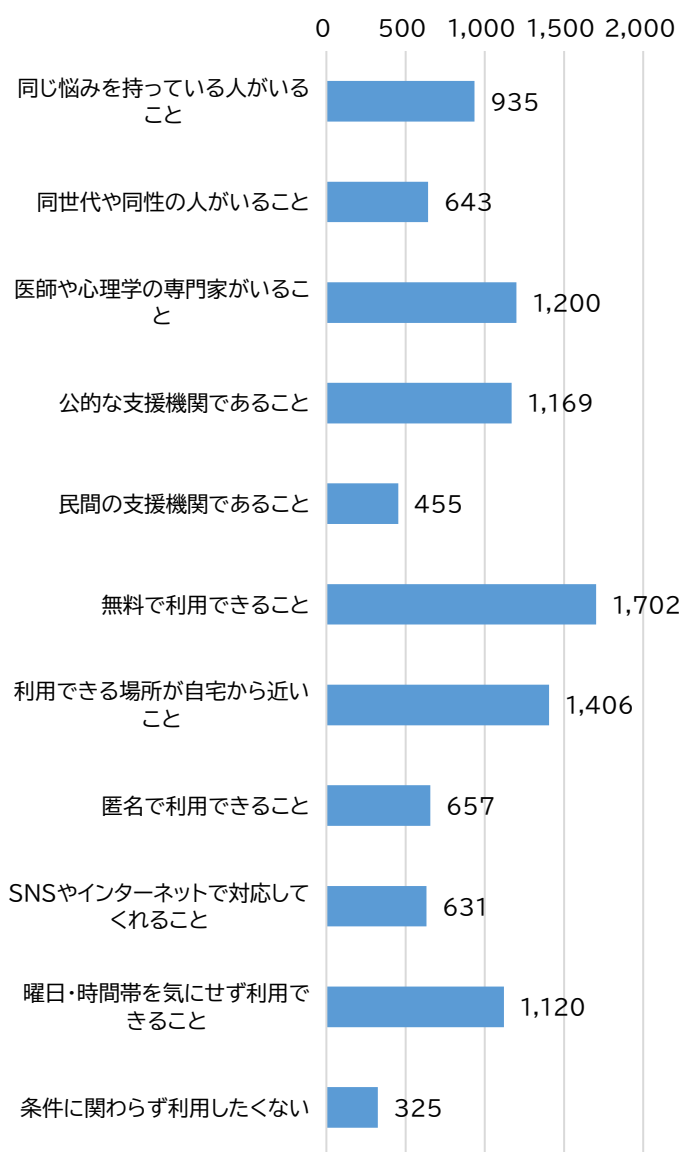
No	項目	回答数	割合
1	専門家のカウンセリングを利用すること	893	26.9%
2	学習や資格取得に取り組むこと	581	17.5%
3	家事や子育て,介護に取り組むこと	323	9.7%
4	健康づくりや体調管理に取り組むこと	1,254	37.7%
5	家計の管理・改善に取り組むこと	451	13.6%
6	就職や復職の訓練プログラムを利用すること	632	19.0%
7	自分に合った仕事を探すこと	1,276	38.4%
8	仕事をする	948	28.5%
9	就労以外の社会貢献活動を行うこと	311	9.4%
10	気軽に集まることができる場に参加すること	697	21.0%
11	支援やサポートに関する情報を集めること	696	20.9%
12	同じ悩みを抱える人と出会う場に参加すること	567	17.1%
13	上記以外	172	5.2%
14	今のままで良いとは思わないが,具体的には分からない	967	29.1%
15	何も必要ない,今のままで良い	278	8.4%
回答者数		3,325	



- ・「自分に合った仕事を探すこと」が 38.4%、次いで「健康づくりや体調管理に取り組むこと」が 37.7%、「今のままで良いとは思わないが,具体的には分からない」が 29.1%、「仕事をする」が 28.5%、「専門家のカウンセリングを利用すること」が 26.9%と続く

Q14. 上記の必要なことについて、サポートやアドバイスを受けるとしたら、どのような条件があれば利用したいと思いますか（複数回答可）（Q6を1人以上で回答した人が対象）

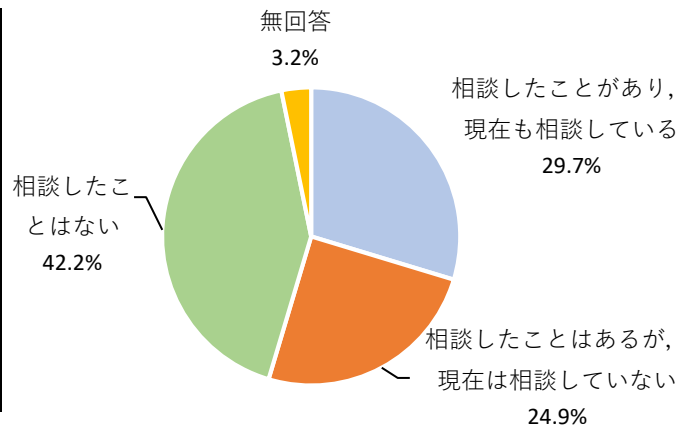
No	項目	回答数	割合
1	同じ悩みを持っている人がいること	935	28.1%
2	同世代や同性の人がいること	643	19.3%
3	医師や心理学の専門家が いること	1,200	36.1%
4	公的な支援機関であること	1,169	35.2%
5	民間の支援機関であること	455	13.7%
6	無料で利用できること	1,702	51.2%
7	利用できる場所が自宅から近いこと	1,406	42.3%
8	匿名で利用できること	657	19.8%
9	SNS やインターネットで 対応してくれること	631	19.0%
10	曜日・時間帯を気にせず 利用できること	1,120	33.7%
11	条件に関わらず利用したくない	325	9.8%
回答者数		3,325	



- ・「無料で利用できること」が51.2%、次いで「利用できる場所が自宅から近いこと」が42.3%、「医師や心理学の専門家がいること」が36.1%と続く

Q15. 専門機関や医療機関などに相談したことはありますか
(Q6を1人以上で回答した人が対象)

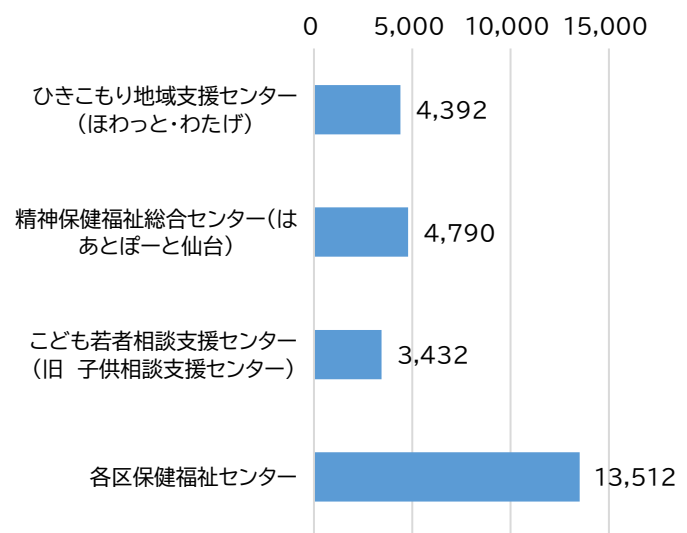
No	項目	回答数	割合
1	相談したことがあり、 現在も相談している	987	29.7%
2	相談したことはあるが、 現在は相談していない	829	24.9%
3	相談したことはない	1,402	42.2%
4	無回答	107	3.2%
合計		3,325	100.0%



- ・「相談したことはない」が42.2%、次いで「相談したことがあり、現在も相談している」が29.7%、「相談したことはあるが、現在は相談していない」が24.9%と続く

Q16. 仙台市が設置・運営する窓口のうち、ひきこもりに関する相談ができることを知っているものについてお答えください（複数回答可）

No	項目	回答数	割合
1	ひきこもり地域支援センター（ほわっと・わたげ）	4,392	12.9%
2	精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）	4,790	14.1%
3	こども若者相談支援センター（旧 子供相談支援センター）	3,432	10.1%
4	各区保健福祉センター	13,512	39.8%
回答者数		33,959	



- ・「各区保健福祉センター」が39.8%、次いで「精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）」が14.1%、「ひきこもり地域支援センター（ほわっと・わたげ）」が12.9%と続く

Q17. ひきこもり支援に関するご意見を自由にご記入ください。

記入数 全 9,279 件

内訳	「問6」で「1人以上」と答えた方 (ひきこもり状態にあてはまる方がいる世帯)	1,545 件
	その他	7,734 件

回答例（一部抜粋）

○抱える不安について

- ・健康面

通院のために外出することが難しく、この先不安。

ひきこもり本人以外も体調を崩しており、今後が心配。

- ・経済面

生活費が心配。

本人が勤務していないため、家計が苦しい。

○行政に対する要望・意見

- ・既存の取り組みについて

行政窓口で相談できる専門家が少ない。

既存の支援について情報がどこから入手できるかわからない。

- ・新規事業について

自宅訪問による健康相談や自立支援等がほしい。

無料で気軽に相談できる場所に、交流・相談の場がほしい。

2 ひきこもり当事者の概要

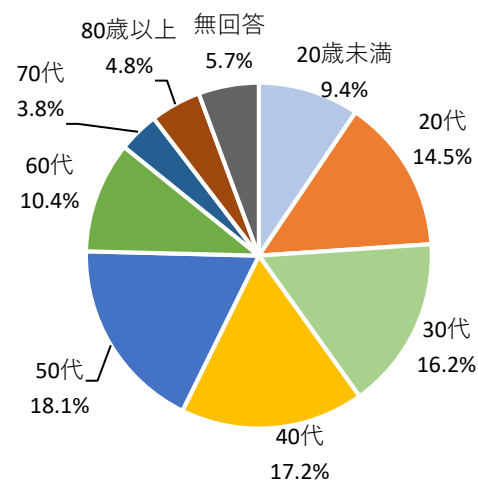
Q6を1人以上で回答した3,325件について集計した。

設問	項目	件数	割合
当事者の年齢	20歳未満	314	9.4%
	20代	482	14.5%
	30代	538	16.2%
	40代	571	17.2%
	50代	602	18.1%
	60代	346	10.4%
	70代	126	3.8%
	80歳以上	158	4.8%
性別	男性	1,610	48.4%
	女性	1,579	47.5%
同居の有無	一人暮らし	613	18.4%
	同居(一人暮らし以外)	2,712	81.6%
ひきこもり期間	6か月未満	284	8.5%
	6か月～1年未満	279	8.4%
	1年～3年未満	712	21.4%
	3年～5年未満	497	14.9%
	5年～10年未満	560	16.8%
	10年以上	901	27.1%
ひきこもり状態になったきっかけ	不登校	727	21.9%
	受験がうまくいかなかった	102	3.1%
	学校でのトラブル	398	12.0%
	就職活動がうまくいかなかった	521	15.7%
	職場でのトラブル	668	20.1%
	友人や家族との人間関係上のトラブル	544	16.4%
	事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気	533	16.0%
	新型コロナウイルス感染症の流行	393	11.8%
	結婚や子育て,パートナーの転勤	323	9.7%
	東日本大震災による影響	158	4.8%
	分からない	400	12.0%
	その他	965	29.0%

(1) 年齢

ひきこもり当事者の年齢は、「50代」が18.1%で最も多かった。次いで「40代」が17.2%、「30代」が16.2%と続く。

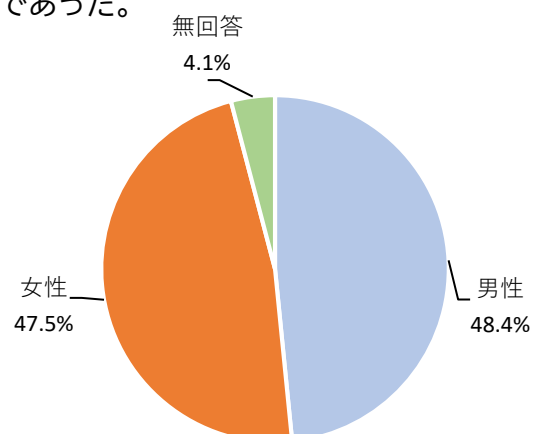
No	項目	回答数	割合
1	20歳未満	314	9.4%
2	20代	482	14.5%
3	30代	538	16.2%
4	40代	571	17.2%
5	50代	602	18.1%
6	60代	346	10.4%
7	70代	126	3.8%
8	80歳以上	158	4.8%
9	無回答	188	5.7%
合計		3,325	100.0%



(2) 性別

ひきこもり当事者の48.4%が男性、47.5%が女性であった。

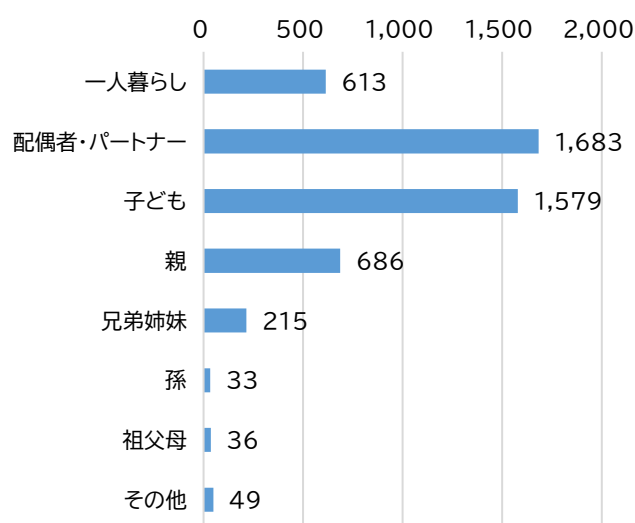
No	項目	回答数	割合
1	男性	1,610	48.4%
2	女性	1,579	47.5%
3	無回答	136	4.1%
合計		3,325	100.0%



(3) 同居の有無

ひきこもり当事者の約8割が家族等と同居している。

No	項目	回答数	割合
1	一人暮らし	613	18.4%
2	配偶者・パートナー	1,683	50.6%
3	子ども	1,579	47.5%
4	親	686	20.6%
5	兄弟姉妹	215	6.5%
6	孫	33	1.0%
7	祖父母	36	1.1%
8	その他	49	1.5%
回答者数		3,325	

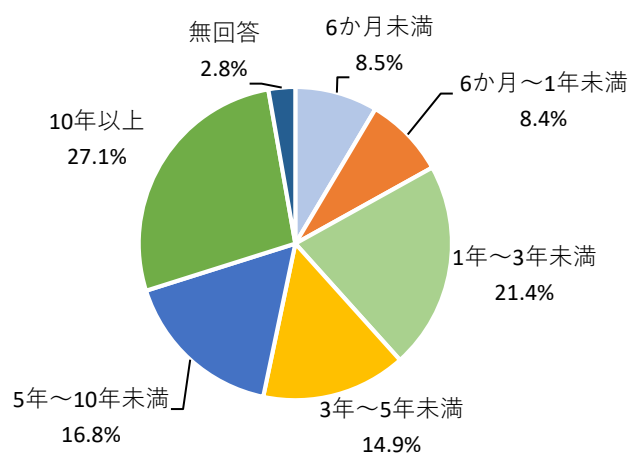


(4) ひきこもり期間について

① ひきこもり期間

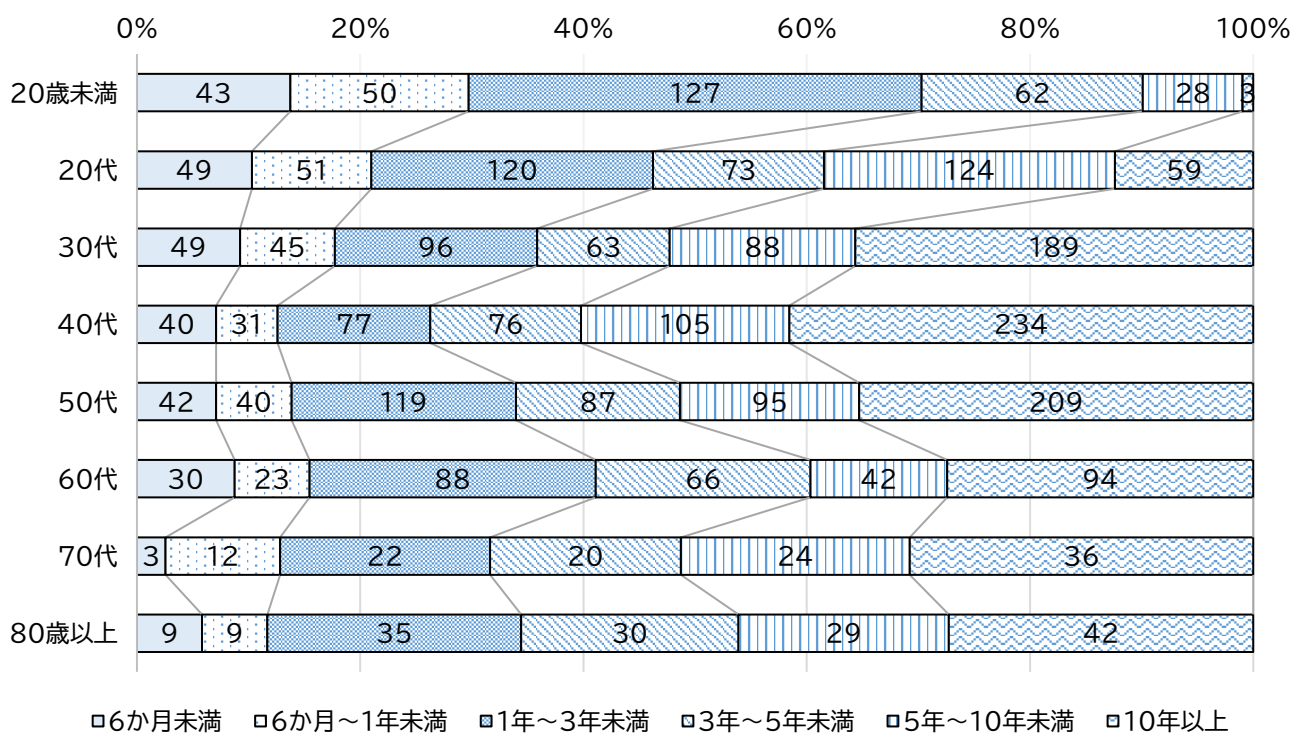
ひきこもり状態になってからの期間は、「10年以上」が最も多く、次いで「1年～3年未満」が多い。

No	項目	回答数	割合
1	6か月未満	284	8.5%
2	6か月～1年未満	279	8.4%
3	1年～3年未満	712	21.4%
4	3年～5年未満	497	14.9%
5	5年～10年未満	560	16.8%
6	10年以上	901	27.1%
7	無回答	92	2.8%
合計		3,325	100.0%



② 「ひきこもり期間」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

- ・ 20歳未満は「1年～3年未満」、20代は「5年～10年未満」、それ以上の世代は「10年以上」が多い。
- ・ 当事者が年齢を重ねるにつれ、ひきこもり期間が長くなる傾向がうかがえる。

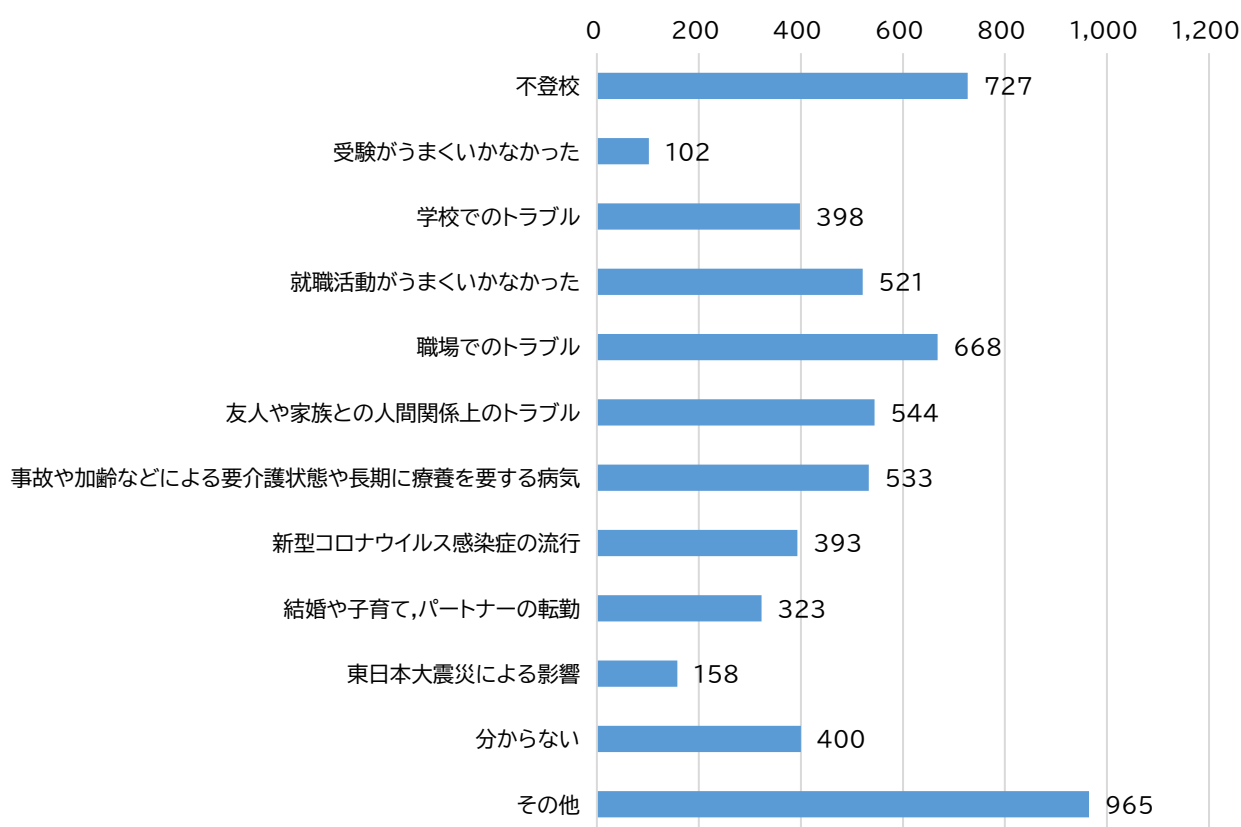


(5) ひきこもるきっかけについて

① きっかけ

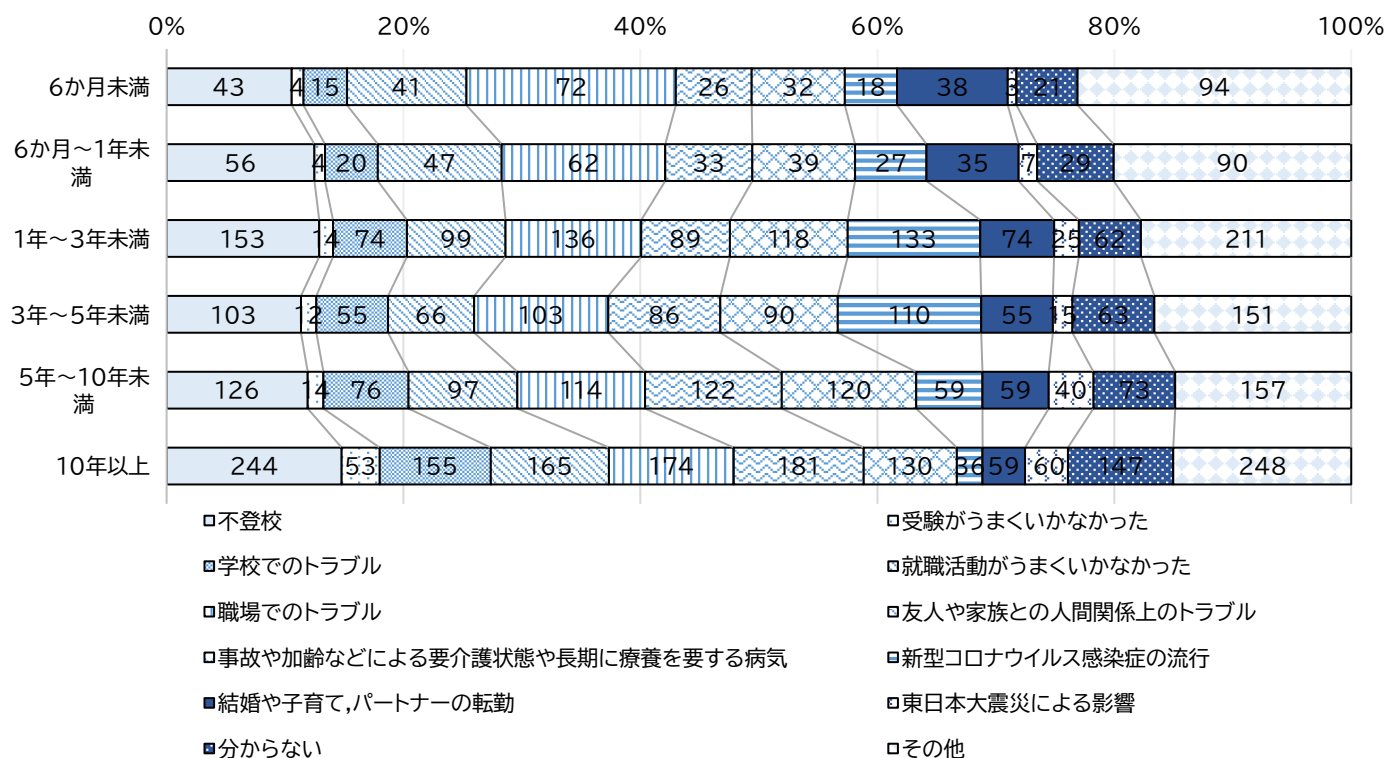
- ・「その他」以外の項目の中では「不登校」が最も多く、次いで「職場でのトラブル」が多い。
- ・「その他」が 29.0%あり、きっかけがはっきりしない、または当事者にしか分からないきっかけがあることがうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	不登校	727	21.9%
2	受験がうまくいかなかった	102	3.1%
3	学校でのトラブル	398	12.0%
4	就職活動がうまくいかなかった	521	15.7%
5	職場でのトラブル	668	20.1%
6	友人や家族との人間関係上のトラブル	544	16.4%
7	事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気	533	16.0%
8	新型コロナウイルス感染症の流行	393	11.8%
9	結婚や子育て,パートナーの転勤	323	9.7%
10	東日本大震災による影響	158	4.8%
11	分からない	400	12.0%
12	その他	965	29.0%
回答者数		3,325	



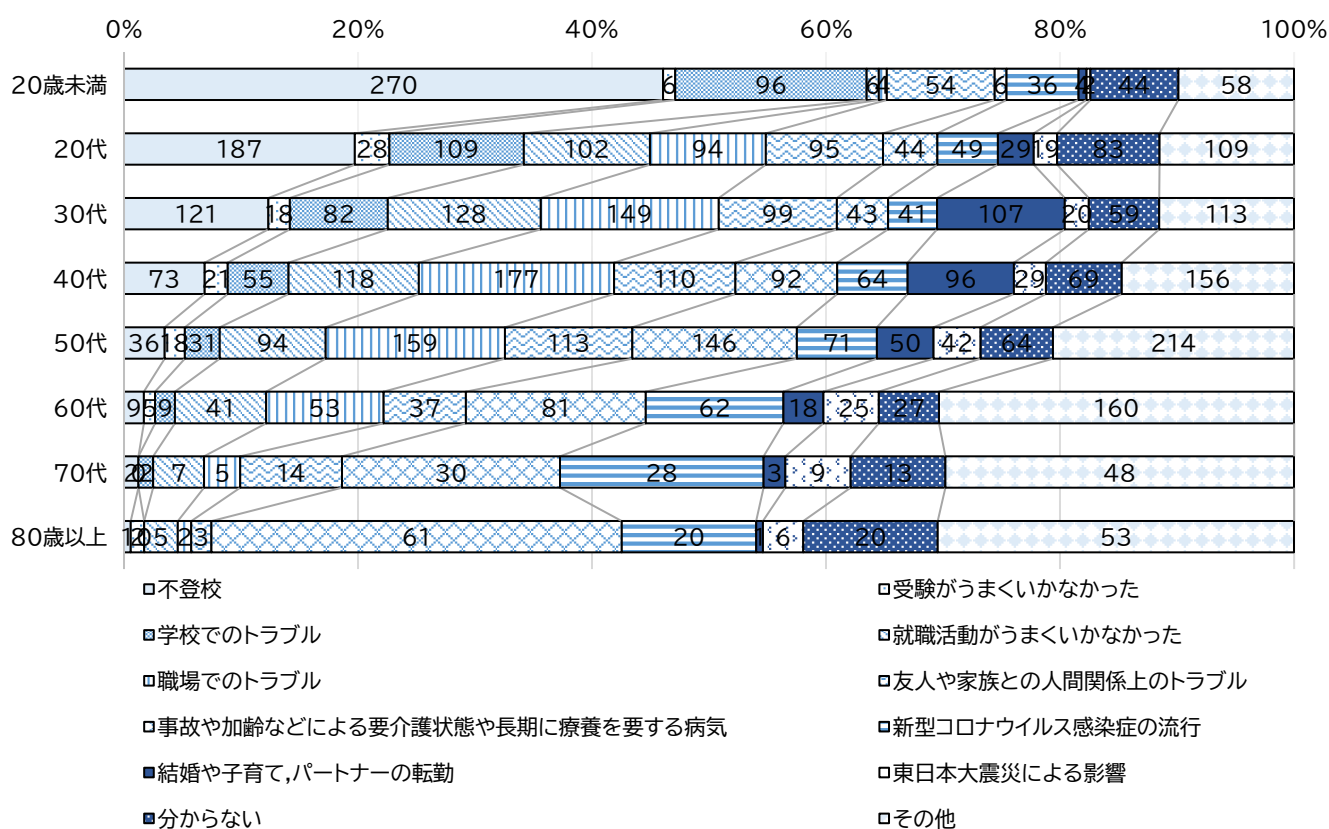
② 「きっかけ」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、ひきこもり当事者それぞれによって要因が異なる。



③ 「きっかけ」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・20歳未満では「不登校」が最多で、年代が上がるごとに「事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気」の割合が増える傾向がうかがえる。

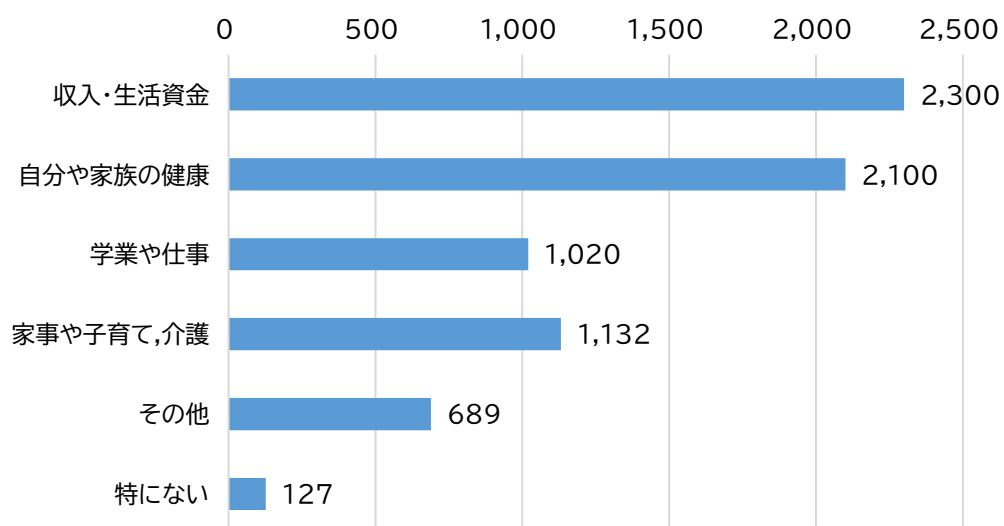


(6) 困りごとについて

① 困りごと

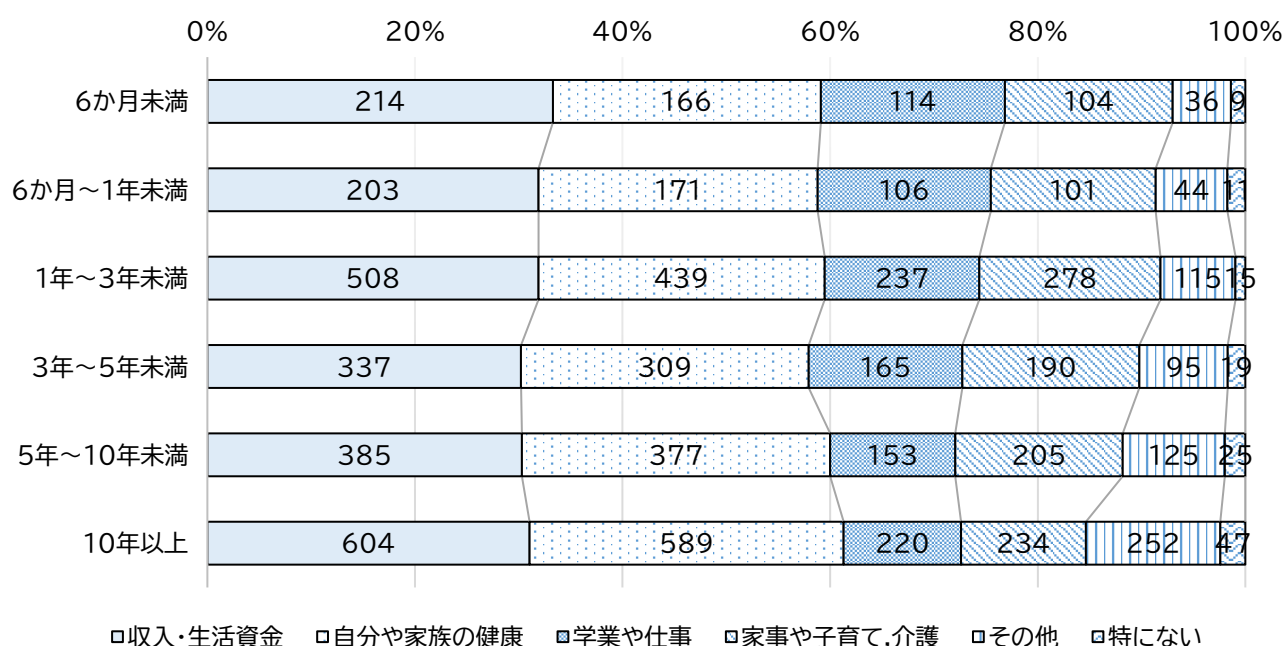
- ・「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」の2項目が多くを占める割合となった。

No	項目	回答数	割合
1	収入・生活資金	2,300	69.2%
2	自分や家族の健康	2,100	63.2%
3	学業や仕事	1,020	30.7%
4	家事や子育て,介護	1,132	34.0%
5	その他	689	20.7%
6	特にない	127	3.8%
回答者数		3,325	



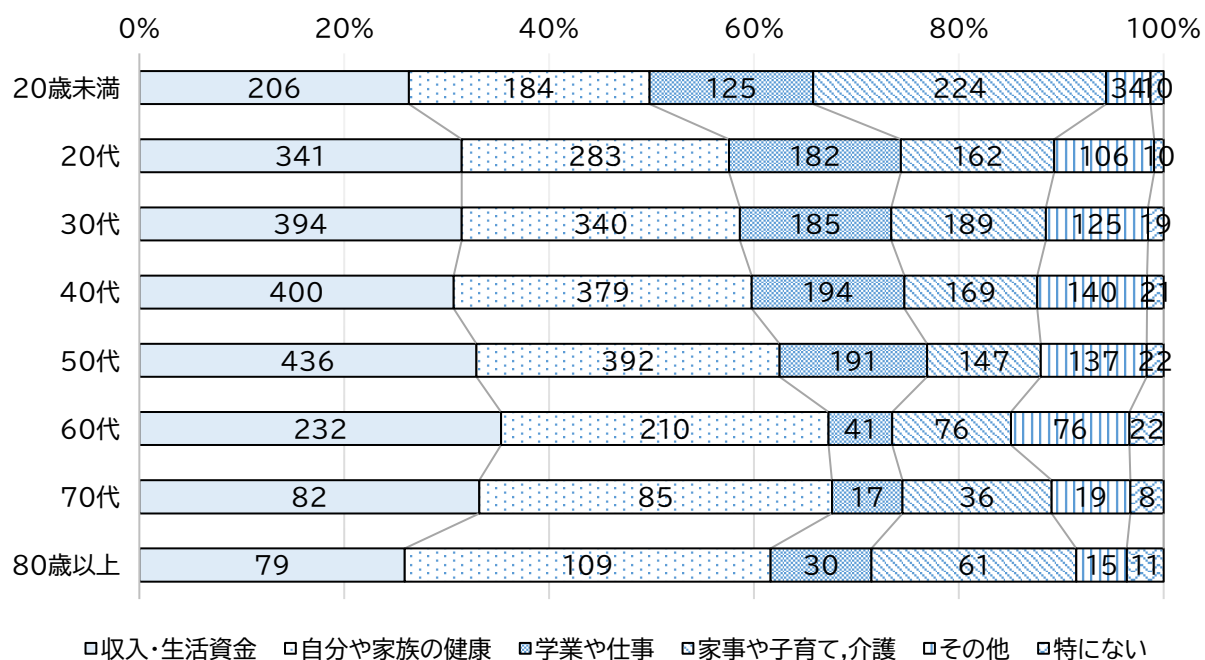
② 「困りごと」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多くの割合を占める。



③ 「困りごと」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多くの割合を占める。



(7) 「きっかけ」と「困りごと」の選択個数

- ・ 1 個の「きっかけ」がひきこもる要因となっている場合が約 5 割となっているが、当事者や家族は複数の「困りごと」を抱えていることがうかがえる。

【きっかけ】

選択個数	回答数	割合
0個	77	2.3%
1個	1,754	52.8%
2個	873	26.3%
3個	406	12.2%
4個以上	215	6.5%
合計	3,325	100.0%

【困りごと】

選択個数	回答数	割合
0個	11	0.3%
1個	992	29.8%
2個	1,113	33.5%
3個	759	22.8%
4個以上	450	13.5%
合計	3,325	100.0%

3 ひきこもり当事者の声

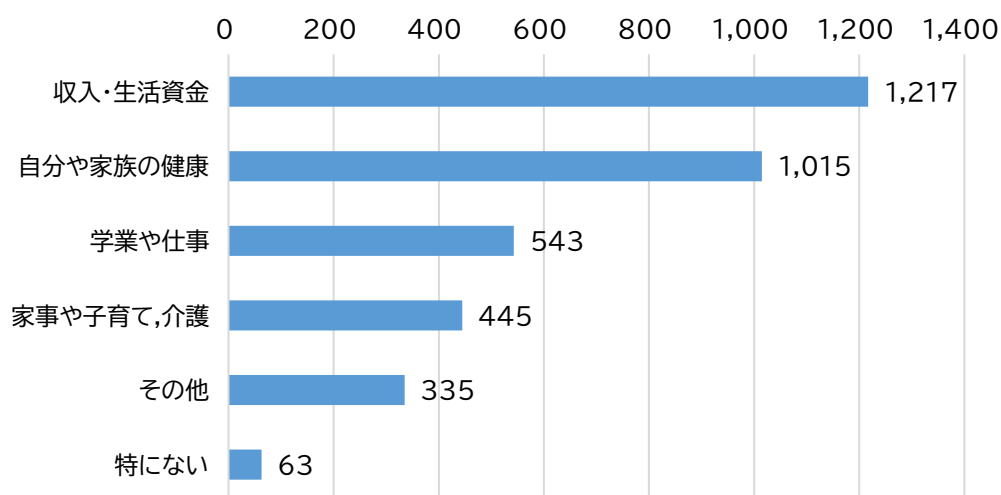
本調査の中から、ひきこもり当事者自身の回答（1,590人）のみを抜粋し、当事者の声に耳を傾ける。

（1）日常生活の不安について

① 日常生活の不安

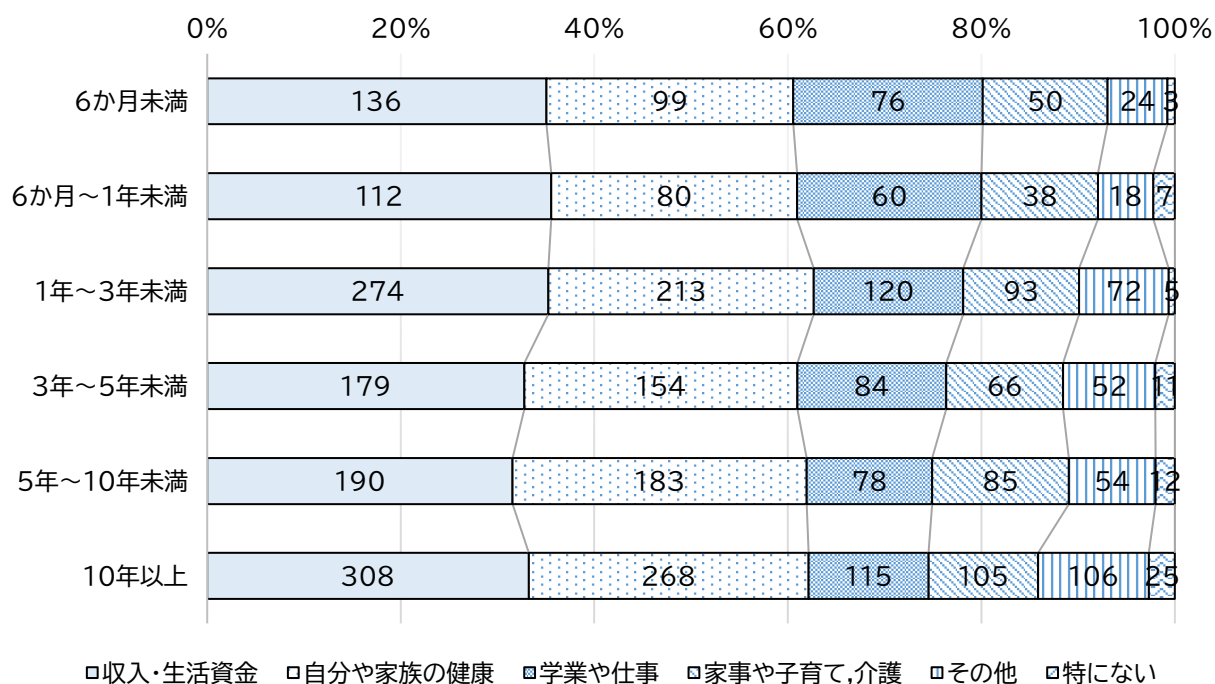
- ・76.5%が「収入・生活資金」に不安を抱えている。
- ・63.8%が「自分や家族の健康」に不安を感じており、自分や家族の体調の変化が当事者にとって影響を及ぼす事項であることがうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	収入・生活資金	1,217	76.5%
2	自分や家族の健康	1,015	63.8%
3	学業や仕事	543	34.2%
4	家事や子育て,介護	445	28.0%
5	その他	335	21.1%
6	特にない	63	4.0%
回答者数		1,590	



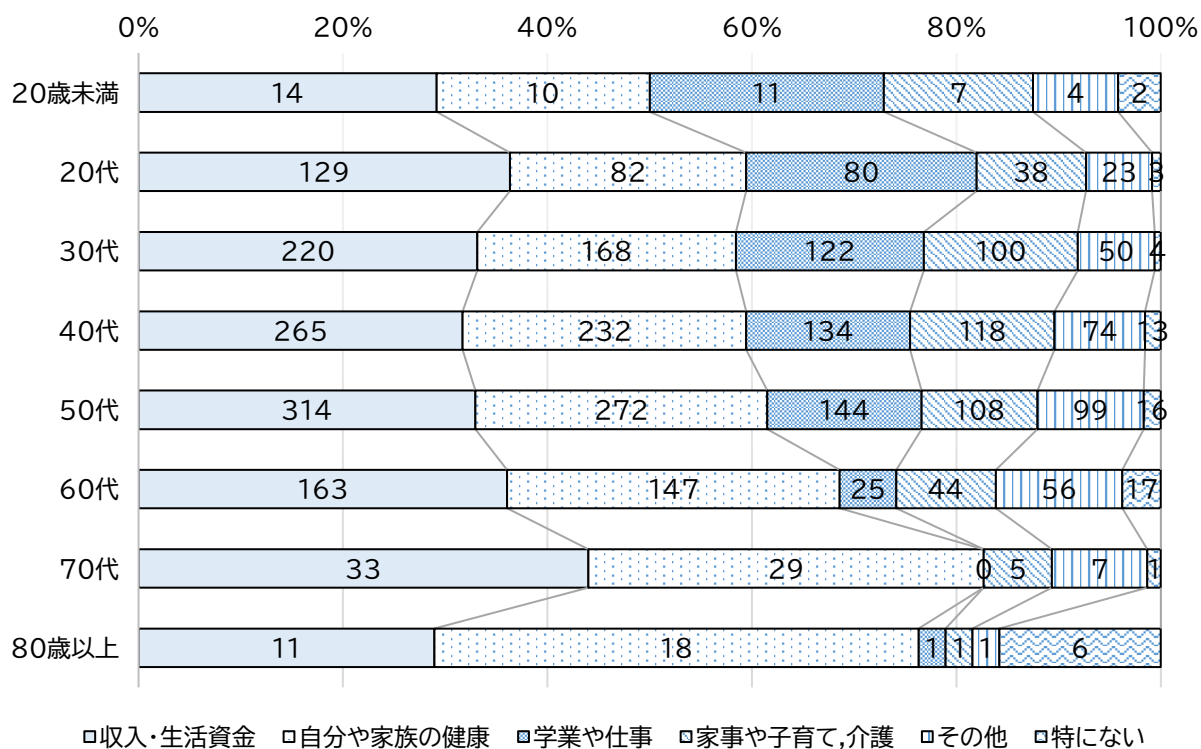
② 「日常生活の不安」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多くの割合を占める。



③ 「日常生活の不安」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多くの割合を占める。

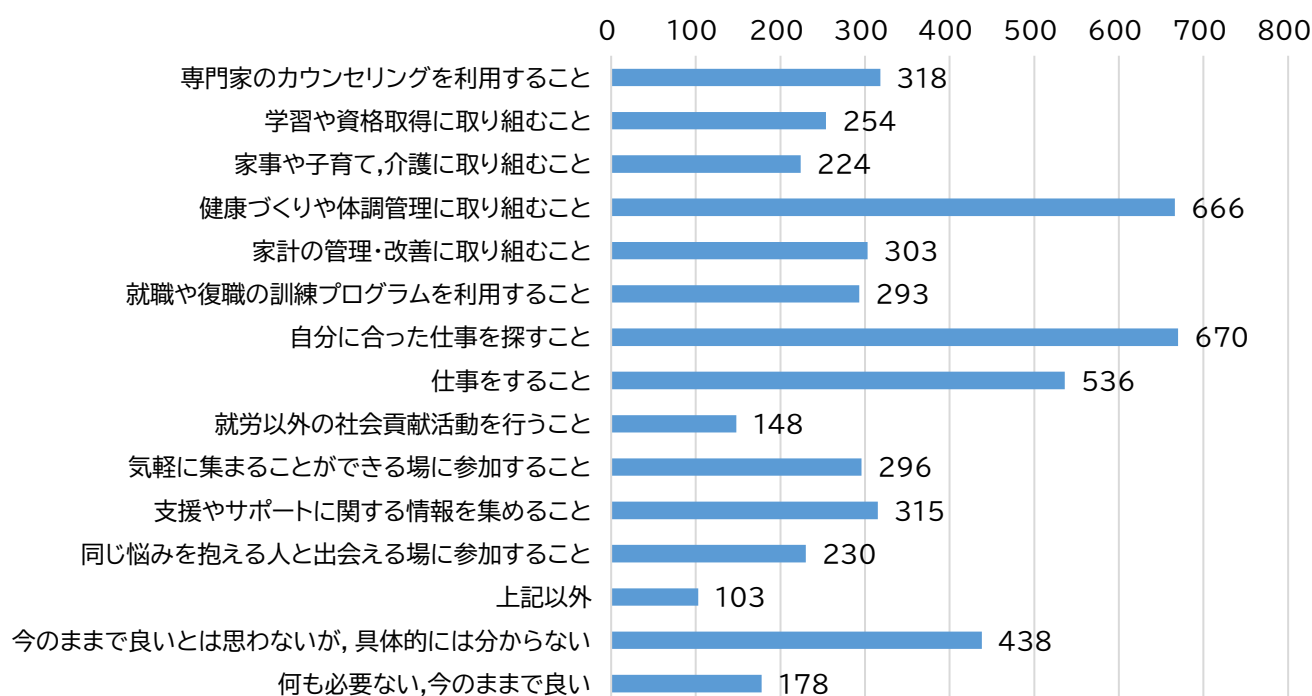


(2) ひきこもり当事者が必要としていること

① 必要としていること

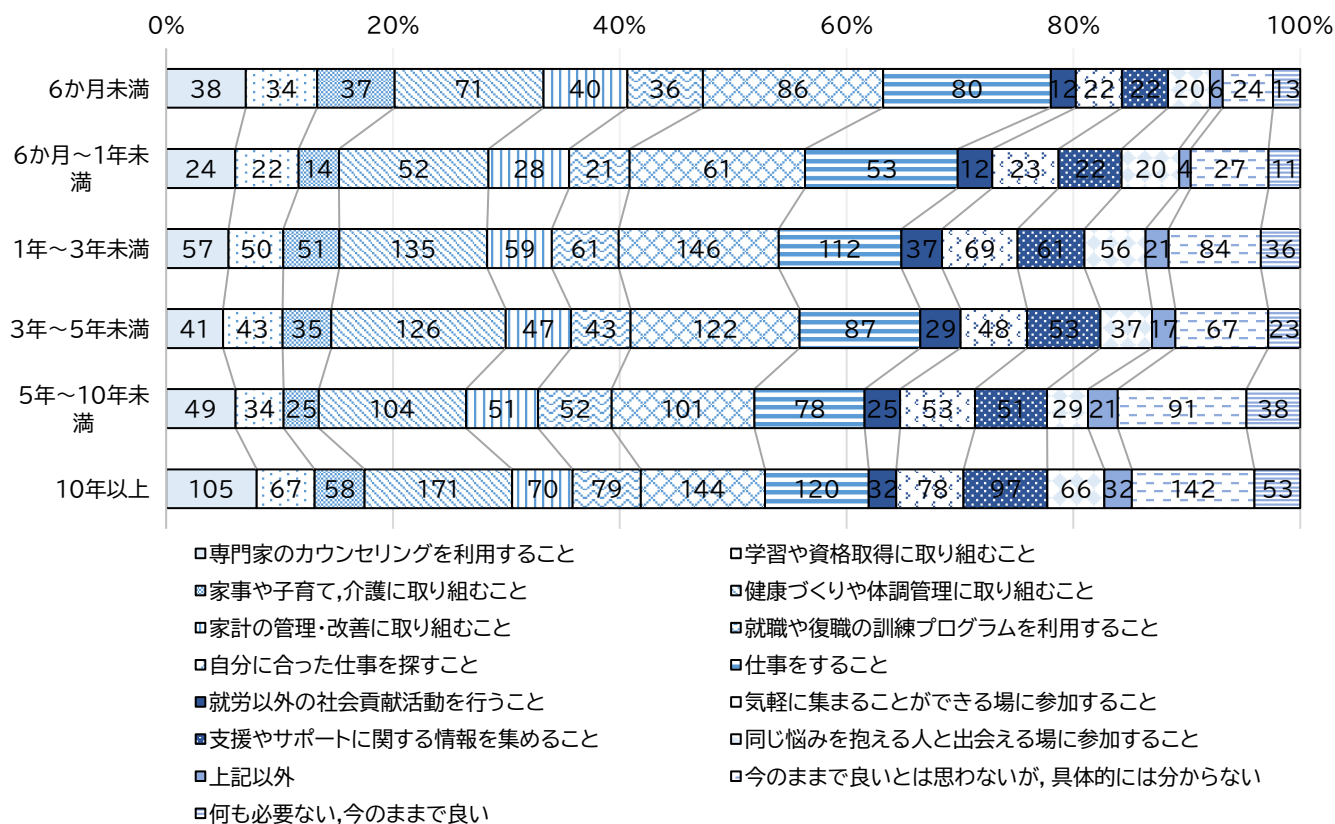
- ・「自分に合った仕事を探すこと」が42.1%と最も多く、次いで「健康づくりや体調管理に取り組むこと」が41.9%と多かった。
- ・「自分に合った仕事を探すこと」と「仕事をする事」の就労に関する項目の回答が多く、就労についての支援のニーズがうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	専門家のカウンセリングを利用すること	318	20.0%
2	学習や資格取得に取り組むこと	254	16.0%
3	家事や子育て、介護に取り組むこと	224	14.1%
4	健康づくりや体調管理に取り組むこと	666	41.9%
5	家計の管理・改善に取り組むこと	303	19.1%
6	就職や復職の訓練プログラムを利用すること	293	18.4%
7	自分に合った仕事を探すこと	670	42.1%
8	仕事をする事	536	33.7%
9	就労以外の社会貢献活動を行うこと	148	9.3%
10	気軽に集まることができる場に参加すること	296	18.6%
11	支援やサポートに関する情報を集めること	315	19.8%
12	同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること	230	14.5%
13	上記以外	103	6.5%
14	今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない	438	27.5%
15	何も必要ない、今のままで良い	178	11.2%
回答者数		1,590	



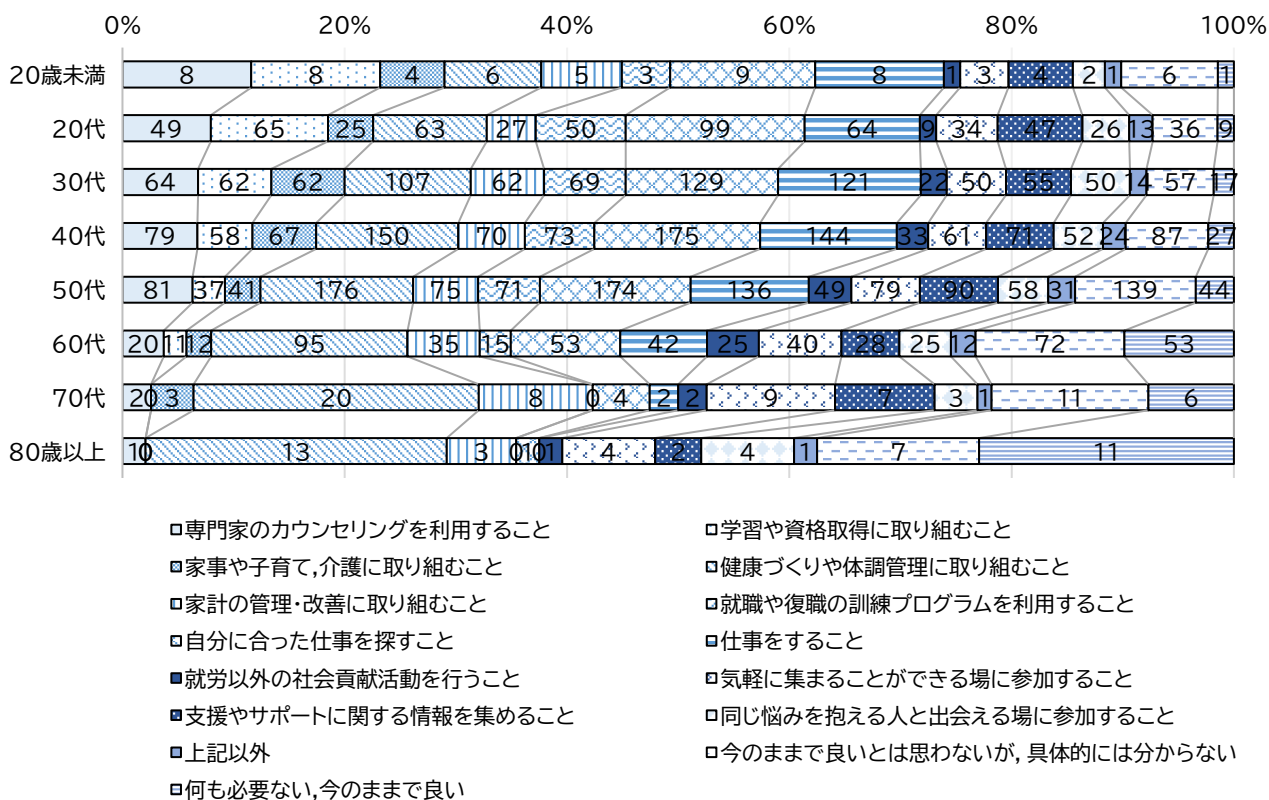
② 「必要としていること」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、ひきこもり当事者が「必要としていること」の割合は大きく変わらない。



③ 「必要としていること」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢が上がるにつれて、「何も必要ない、今のままで良い」の割合が高くなる傾向がある。

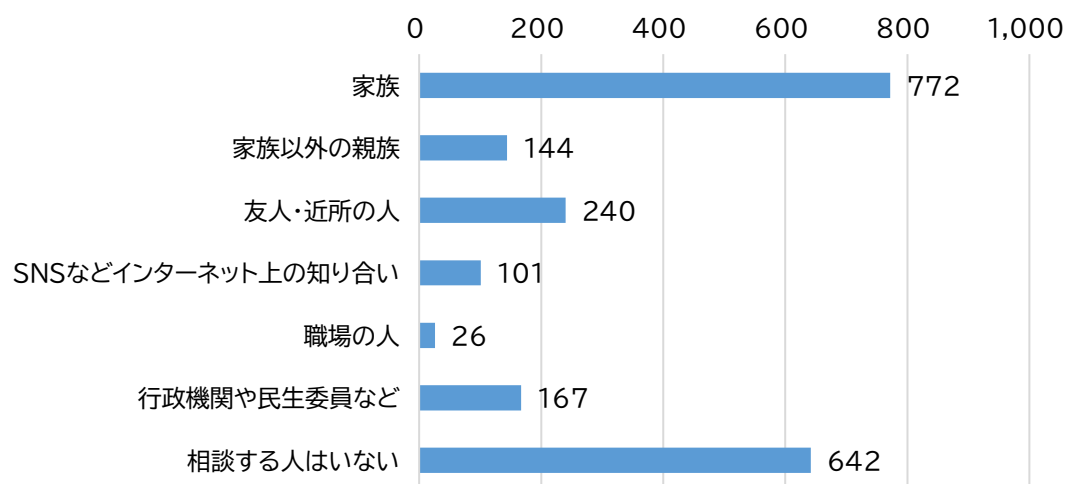


(3) ひきこもり当事者の相談相手について

① 相談相手

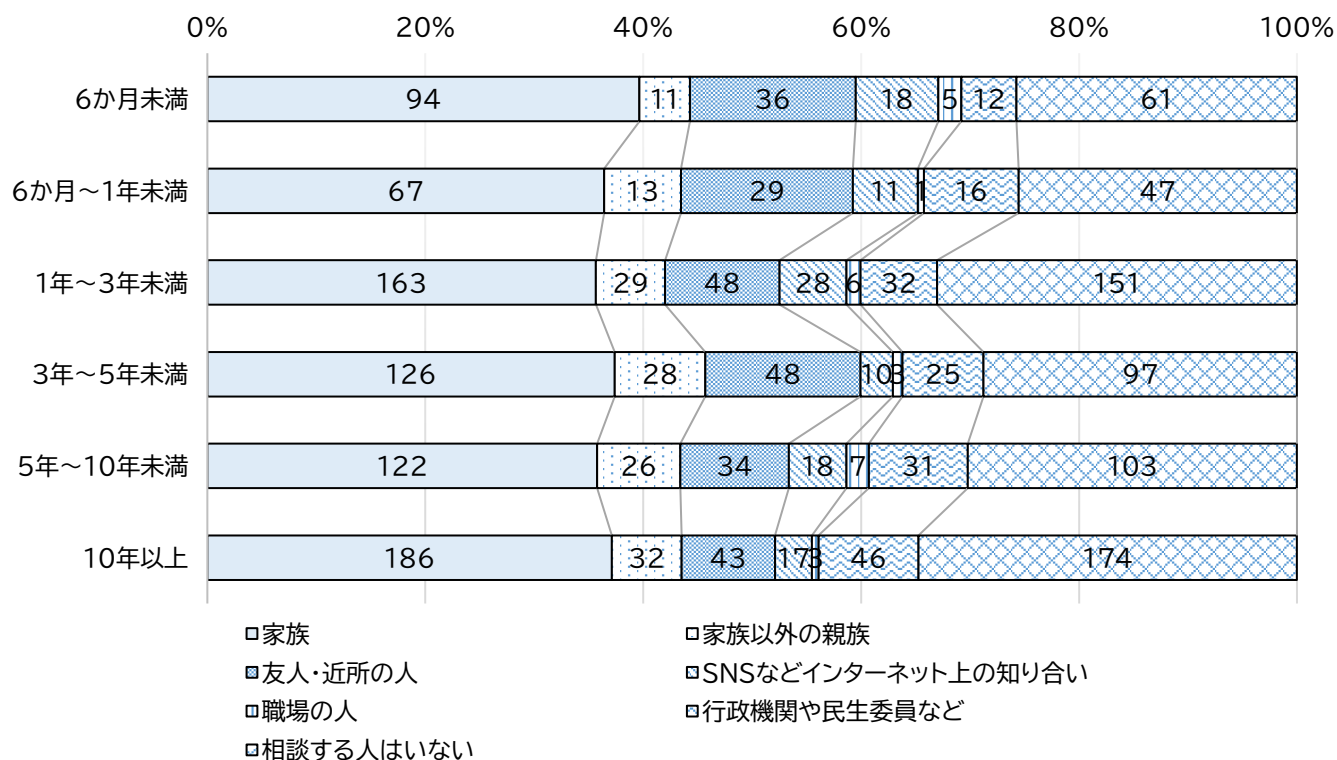
- ・ ひきこもり当事者の 48.6%は「家族」に相談している。
- ・ 「相談する人はいない」は 40.4%と2番目に高かった。

No	項目	回答数	割合
1	家族	772	48.6%
2	家族以外の親族	144	9.1%
3	友人・近所の人	240	15.1%
4	SNS などインターネット上の知り合い	101	6.4%
5	職場の人	26	1.6%
6	行政機関や民生委員など	167	10.5%
7	相談する人はいない	642	40.4%
回答者数		1,590	



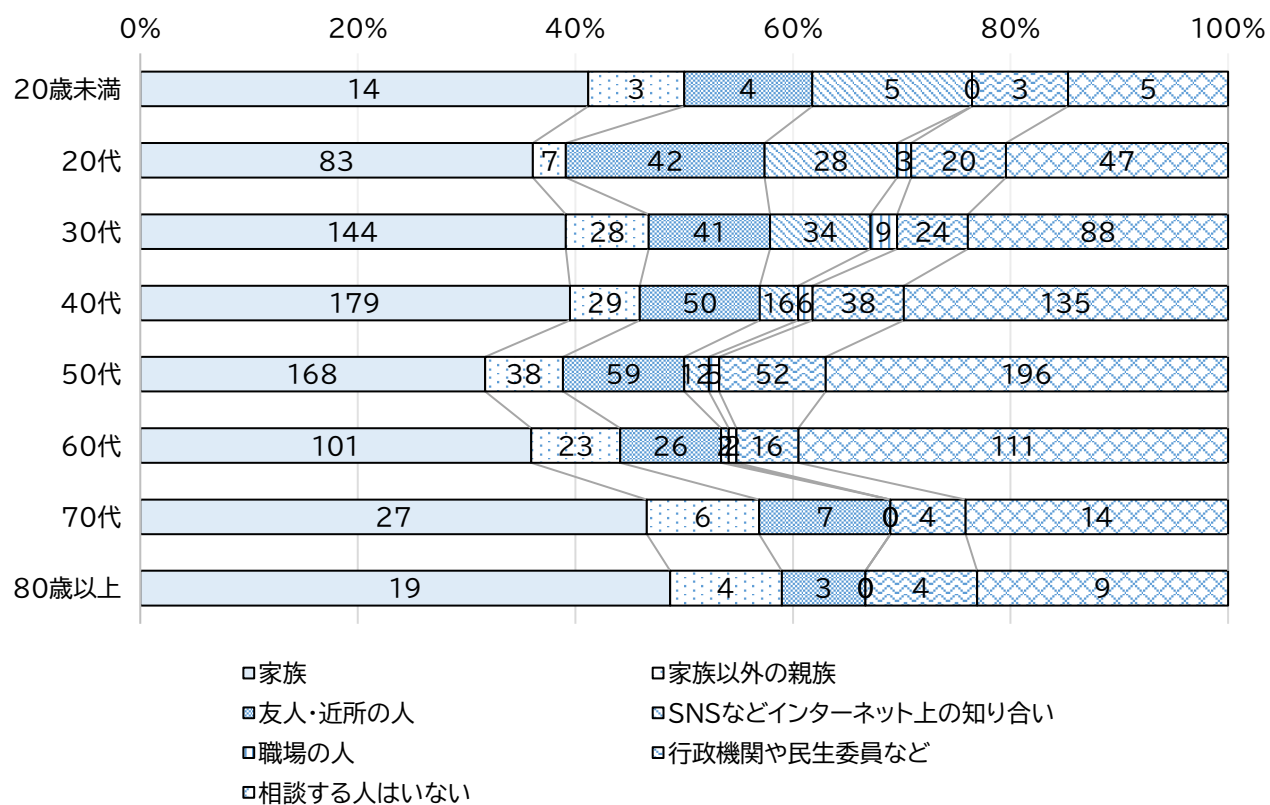
② 「相談相手」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、「家族」が多くの割合を占める。



③ 「相談相手」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、「家族」が多くの割合を占める。

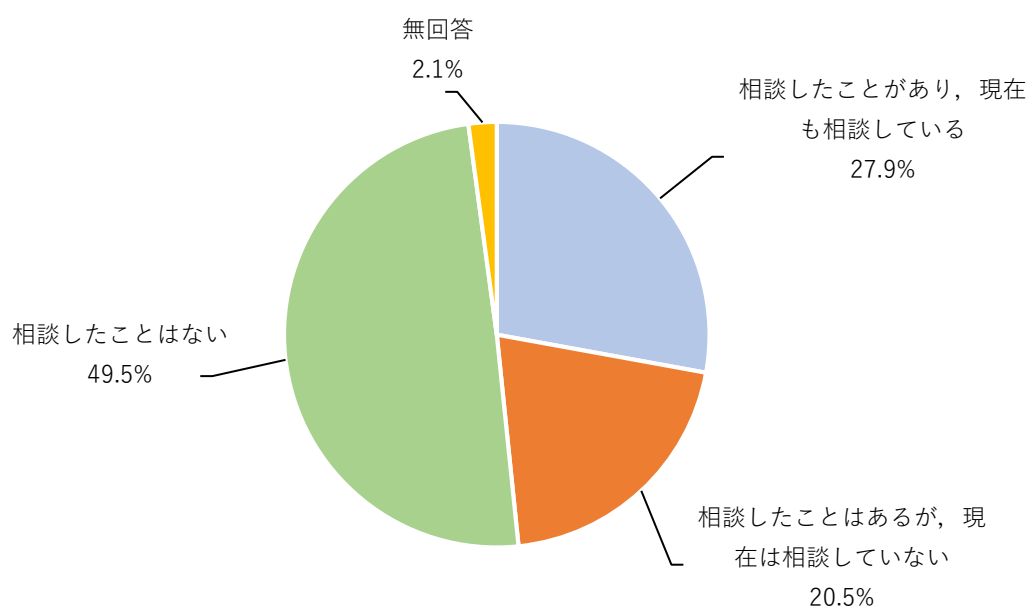


(4) ひきこもり当事者の相談歴について

① 相談の有無

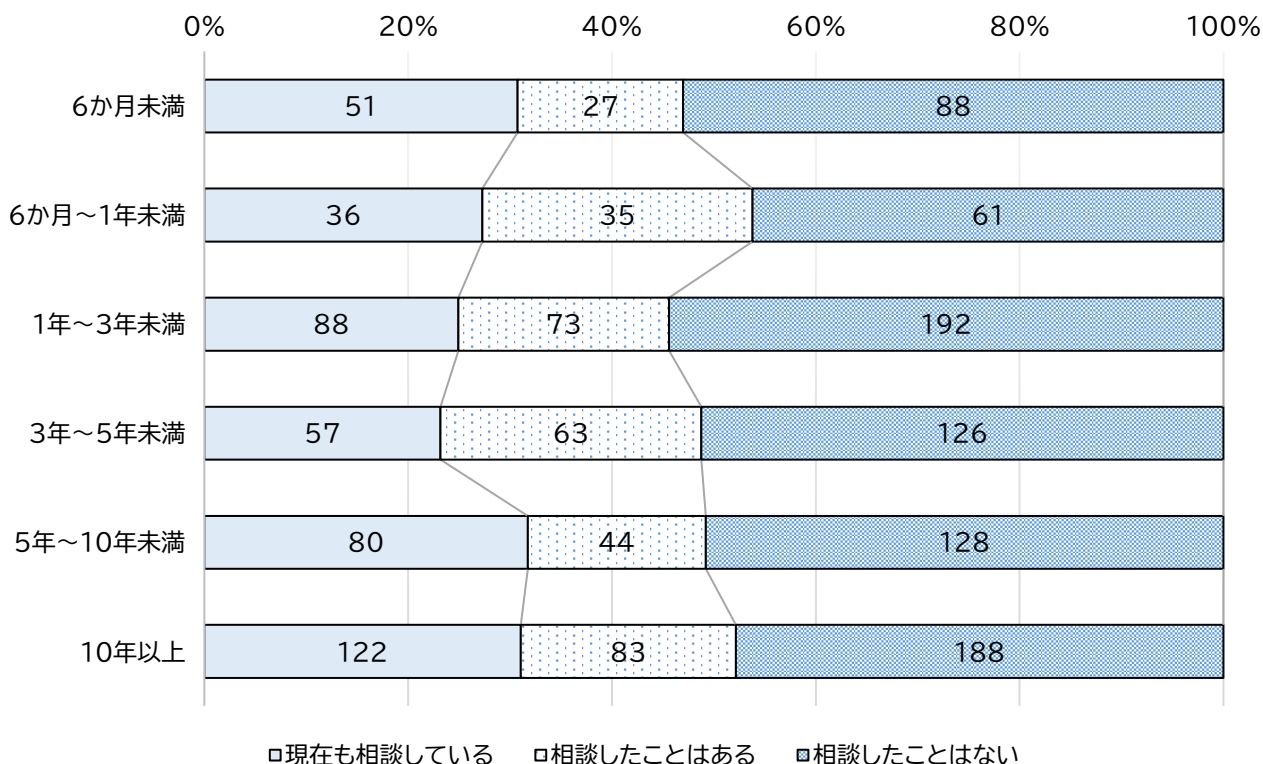
- ・「相談したことはない」が49.5%と最も多くの割合を占めている。

No	項目	回答数	割合
1	相談したことがあり, 現在も相談している	443	27.9%
2	相談したことはあるが, 現在は相談していない	326	20.5%
3	相談したことはない	787	49.5%
4	無回答	34	2.1%
合計		1,590	100.0%



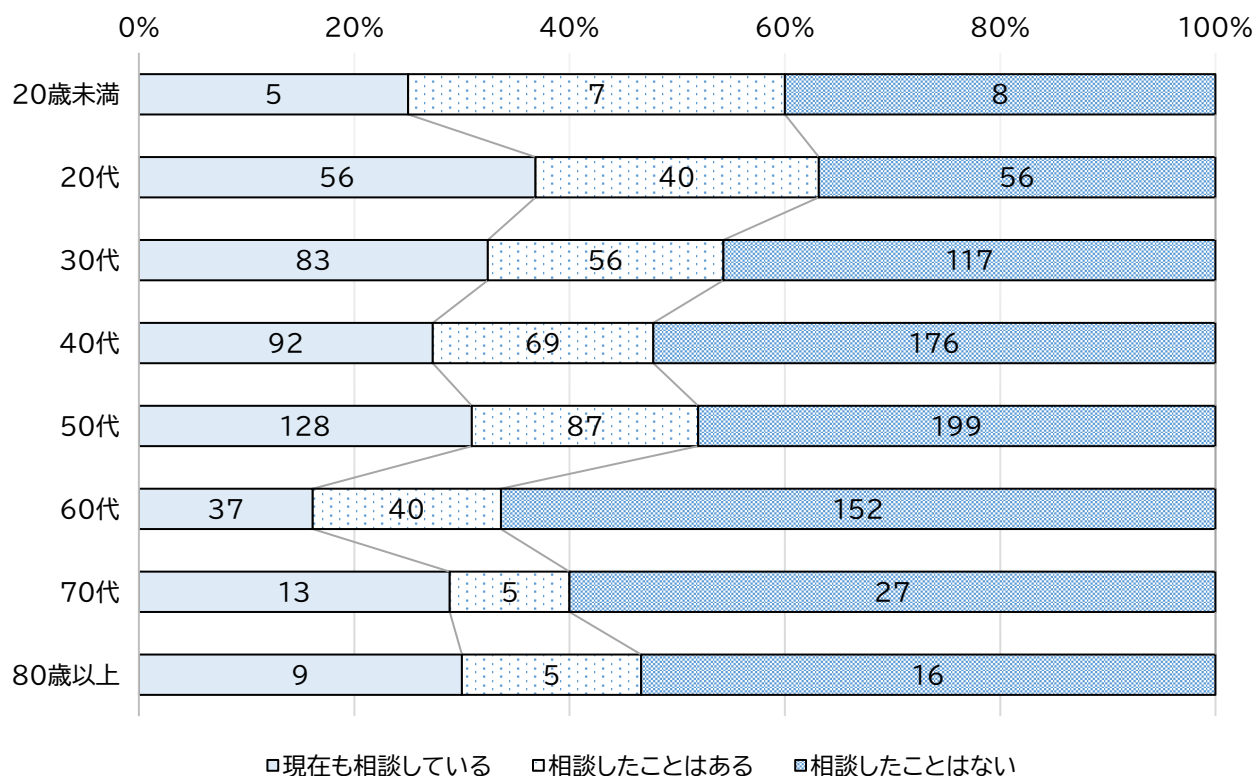
② 「相談の有無」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、「相談したことはない」が多くの割合を占める。



③ 「相談の有無」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、「相談したことはない」が多くの割合を占める。

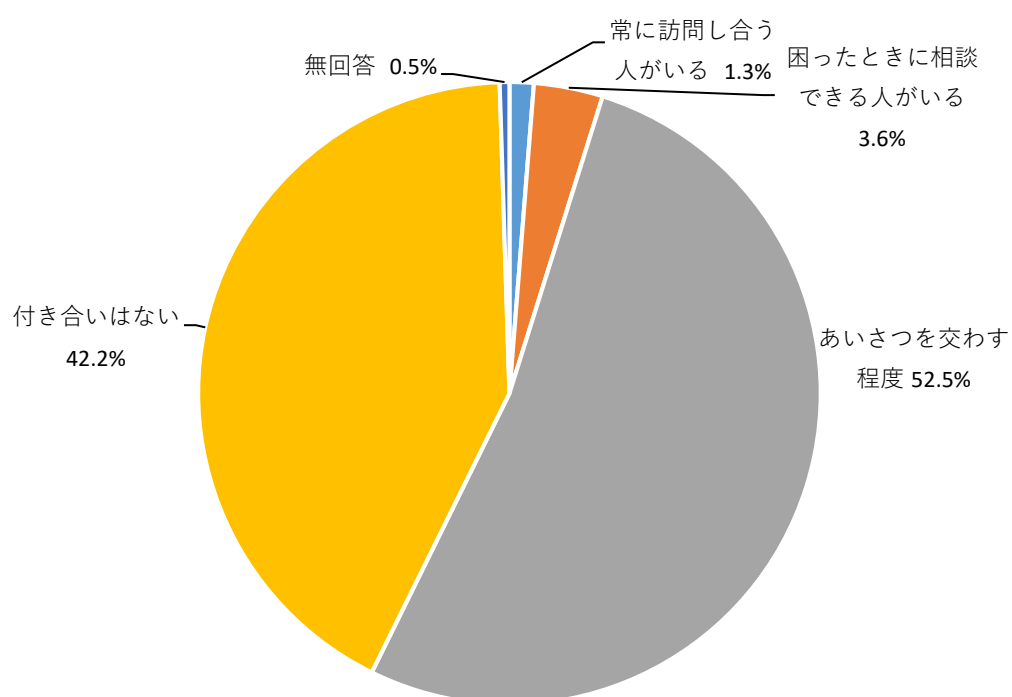


(5) ひきこもり当事者の近所付き合いについて

① 近所付き合いの状況

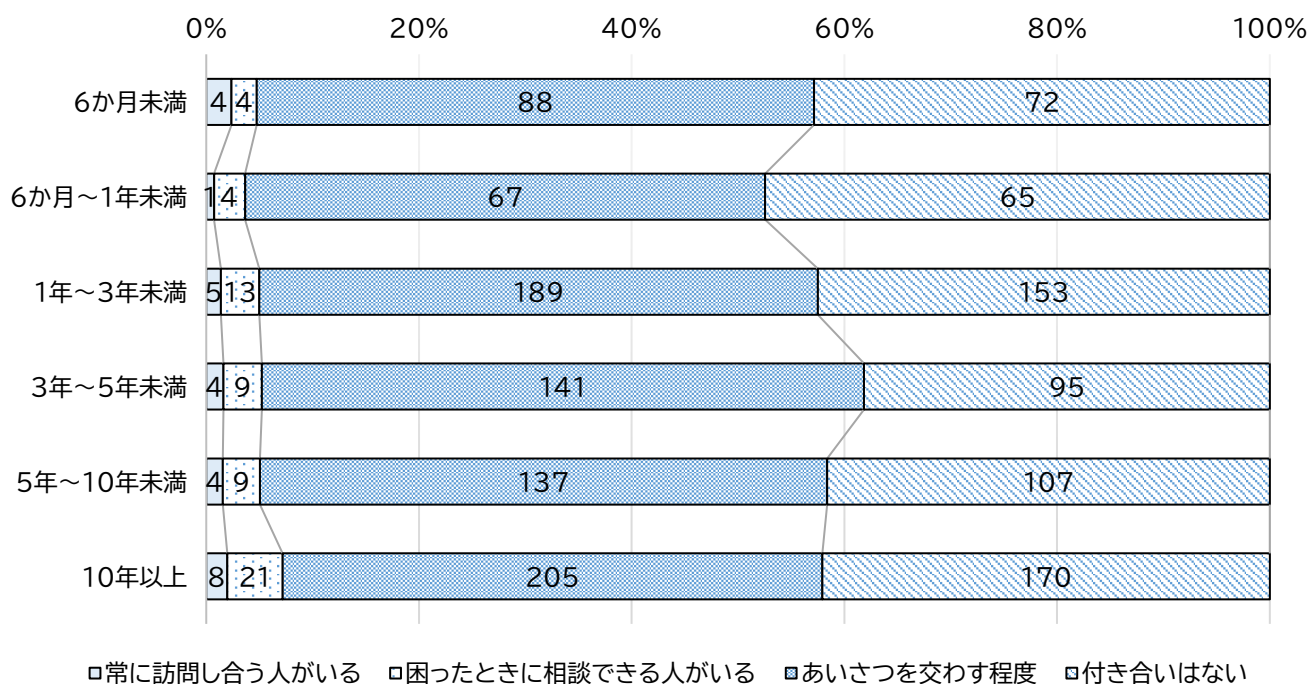
- ・「常に訪問し合う人がある」が1.3%「困ったときに相談できる人がある」が3.6%であり、近所には相談相手がない状況がうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	常に訪問し合う人がある	20	1.3%
2	困ったときに相談できる人がある	57	3.6%
3	あいさつを交わす程度	834	52.5%
4	付き合いはない	671	42.2%
5	無回答	8	0.5%
回答者数		1,590	100.0%



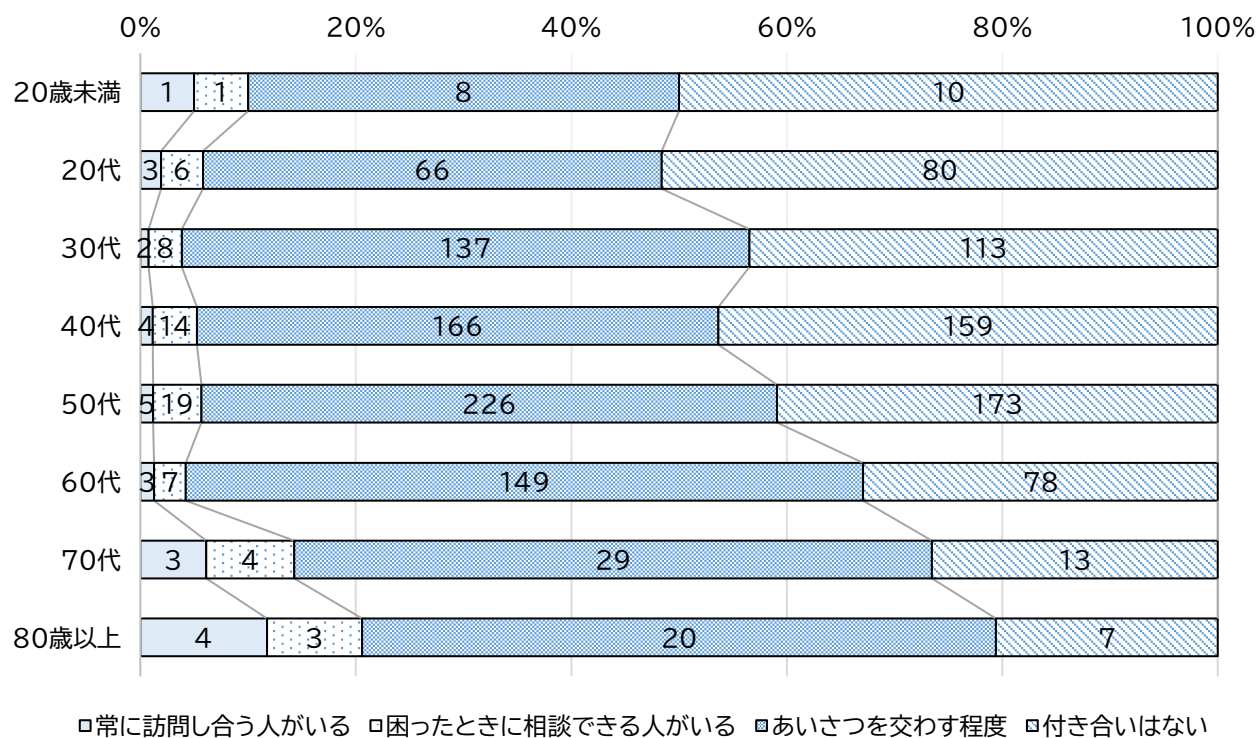
② 「近所付き合いの状況」と「ひきこもり期間」のクロス集計

- ・期間に関わらず、「あいさつを交わす程度」と「付き合いはない」が多い傾向は変わらない。



③ 「近所付き合いの状況」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

- ・年齢が若いほど「付き合いはない」の割合が高くなる傾向があることがうかがえる。

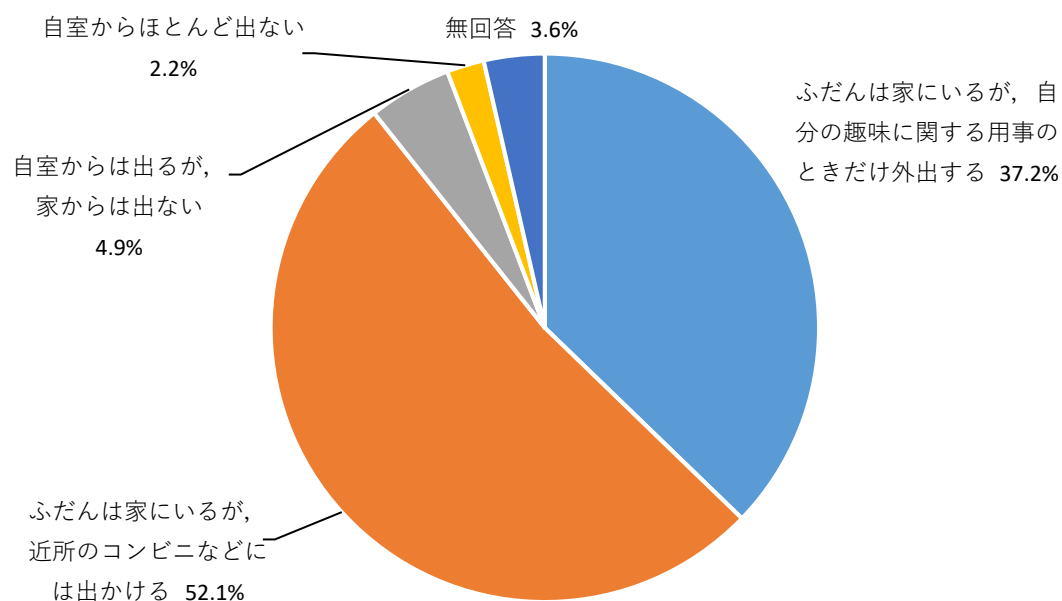


(6) ひきこもり当事者の外出の状況について

① 外出の状況

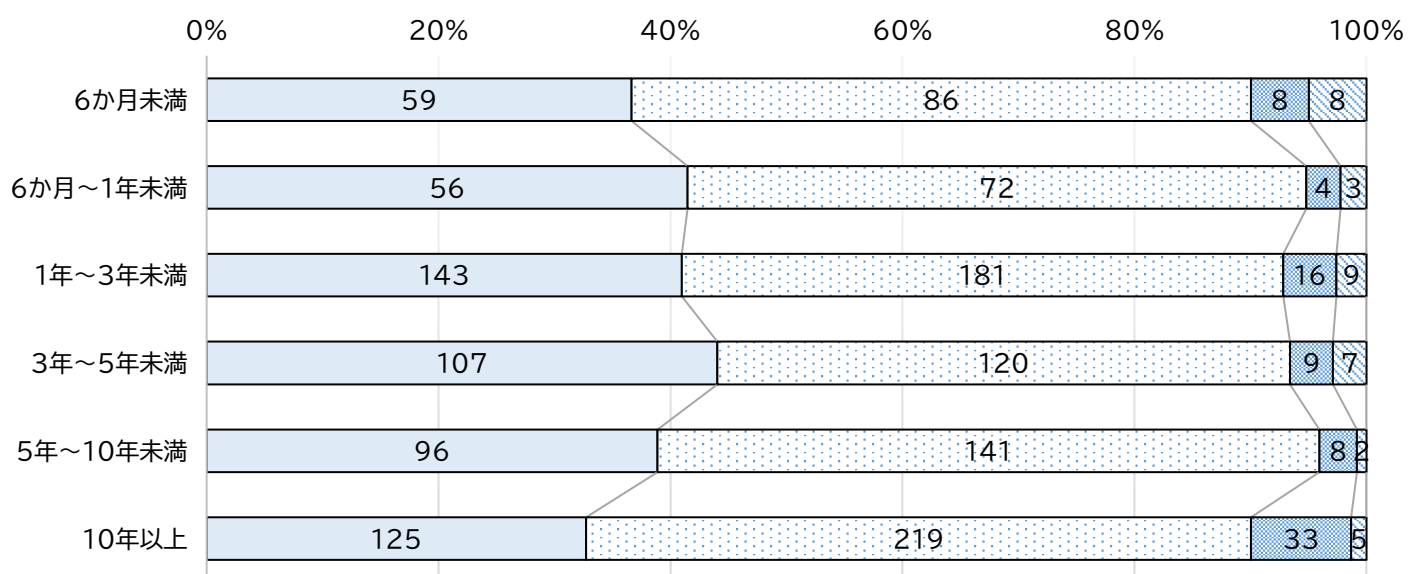
- ・ ひきこもり当事者の大半は、趣味や近所での買い物の際には外出していることがうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時 だけ外出する	592	37.2%
2	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	828	52.1%
3	自室からは出るが、家からは出ない	78	4.9%
4	自室からほとんど出ない	35	2.2%
5	無回答	57	3.6%
合計		1,590	100.0%



② 「外出の状況」と「ひきこもり期間」のクロス集計

- ・期間に関わらず、趣味に関する用事や近所への買い物の際には外出していることがうかがえる。



□ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する

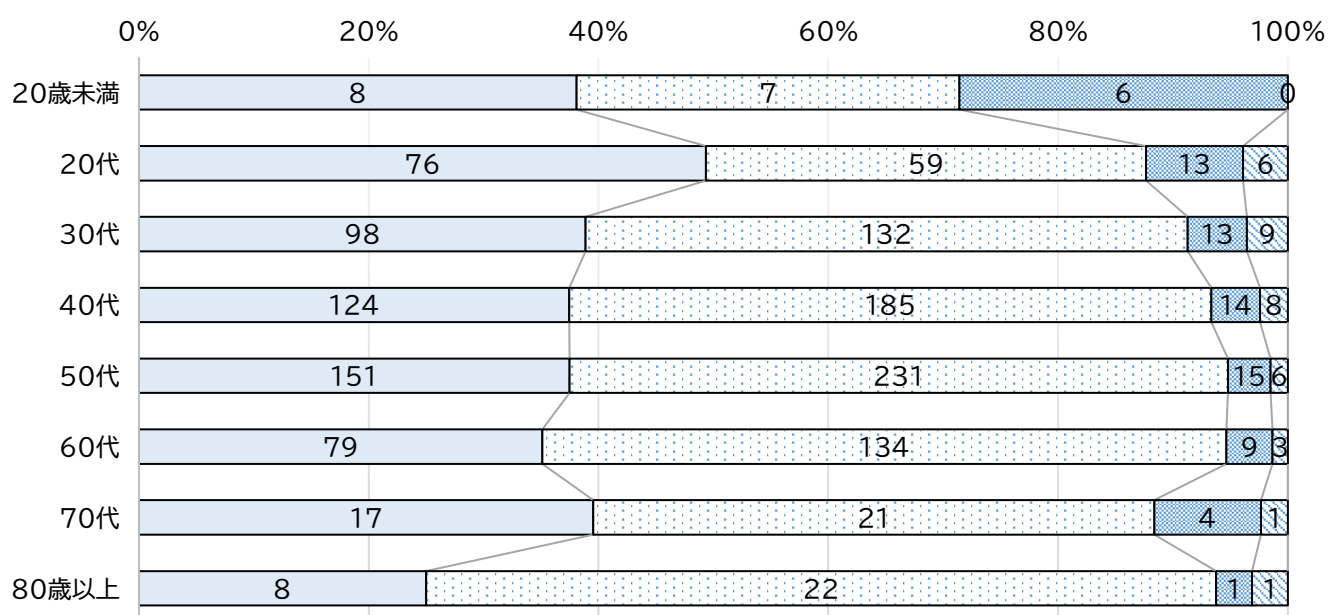
□ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける

□自室からは出るが、家からは出ない

□自室からほとんど出ない

③ 「外出の状況」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

- ・20歳未満は「自室からは出るが、家からは出ない」の割合が、他の年代と比較して高い傾向がある。



□ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する

□ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける

□自室からは出るが、家からは出ない

□自室からほとんど出ない

4 ひきこもり当事者の家族等の声

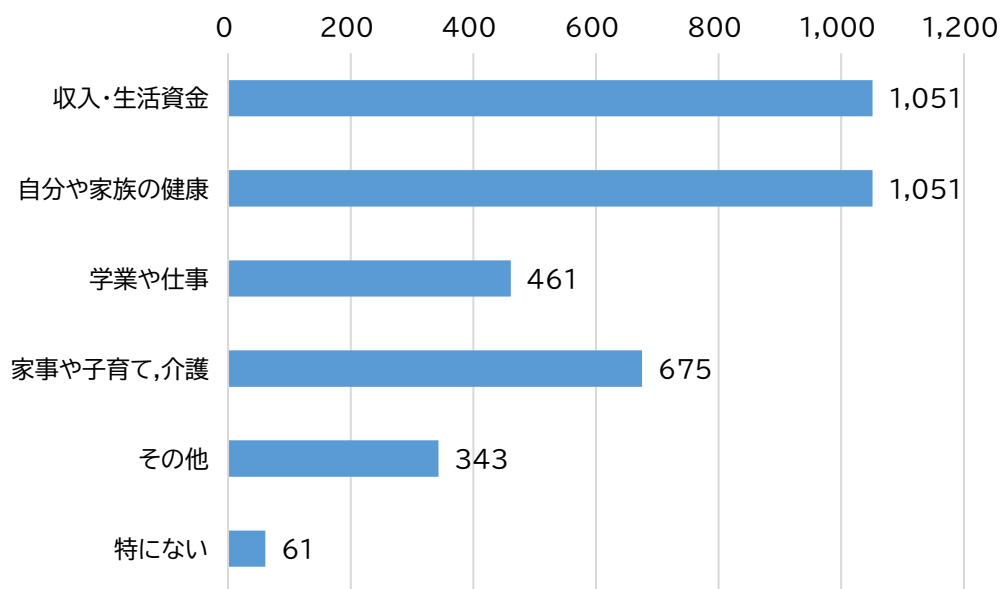
本調査の中から、当事者以外の回答（1,678人）のみを抜粋し、家族等の声に耳を傾ける。

（1）日常生活の不安について

① 日常生活の不安

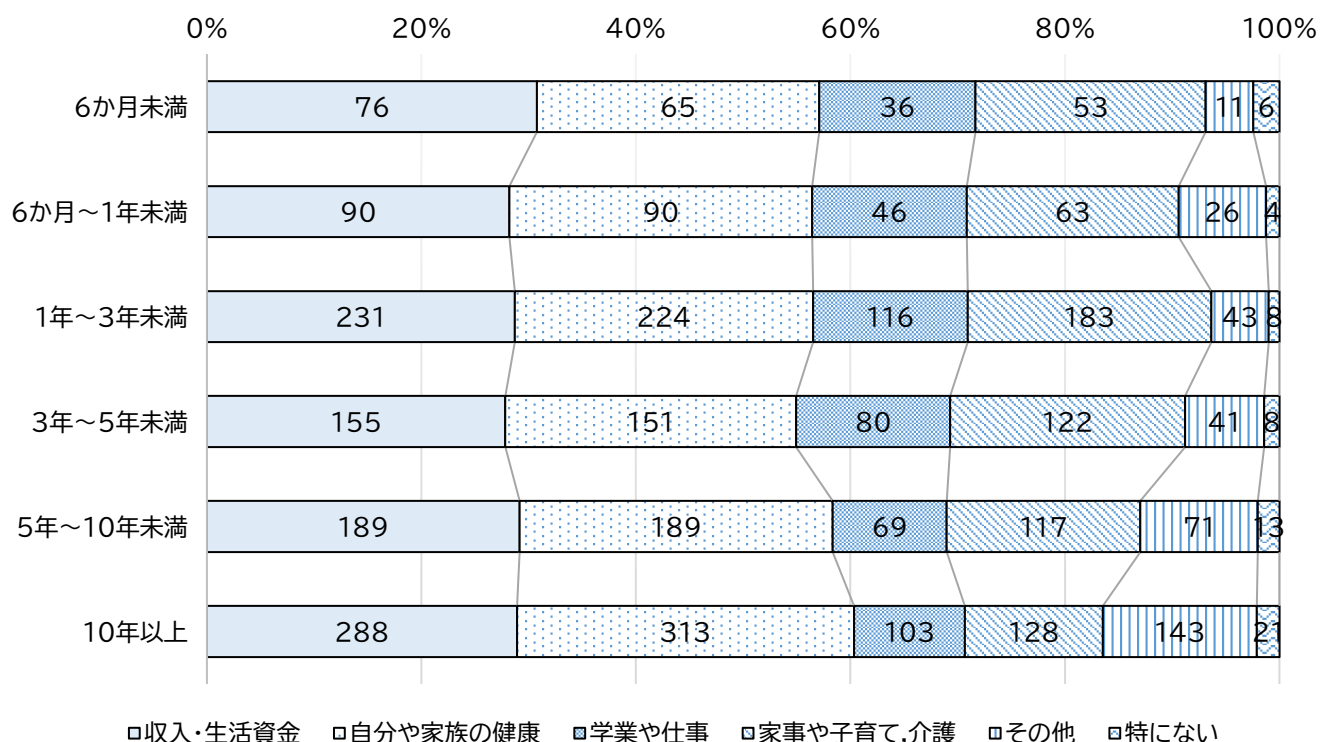
- ・家族等の不安は、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多く、今後の生活資金や健康を不安視していることがうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	収入・生活資金	1,051	62.6%
2	自分や家族の健康	1,051	62.6%
3	学業や仕事	461	27.5%
4	家事や子育て,介護	675	40.2%
5	その他	343	20.4%
6	特にない	61	3.6%
回答者数		1,678	



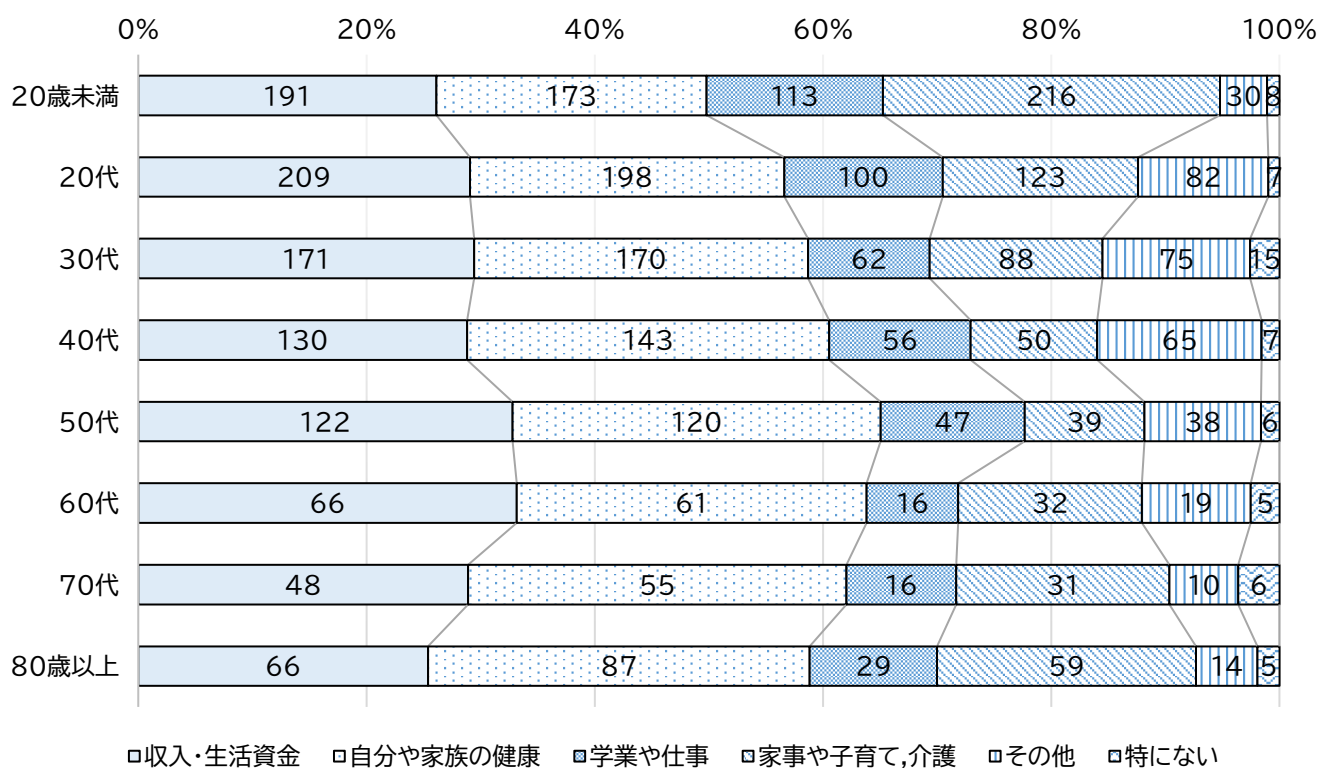
② 「日常生活の不安」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多くの割合を占めている。



③ 「日常生活の不安」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、「収入・生活資金」と「自分や家族の健康」が多くの割合を占めている。

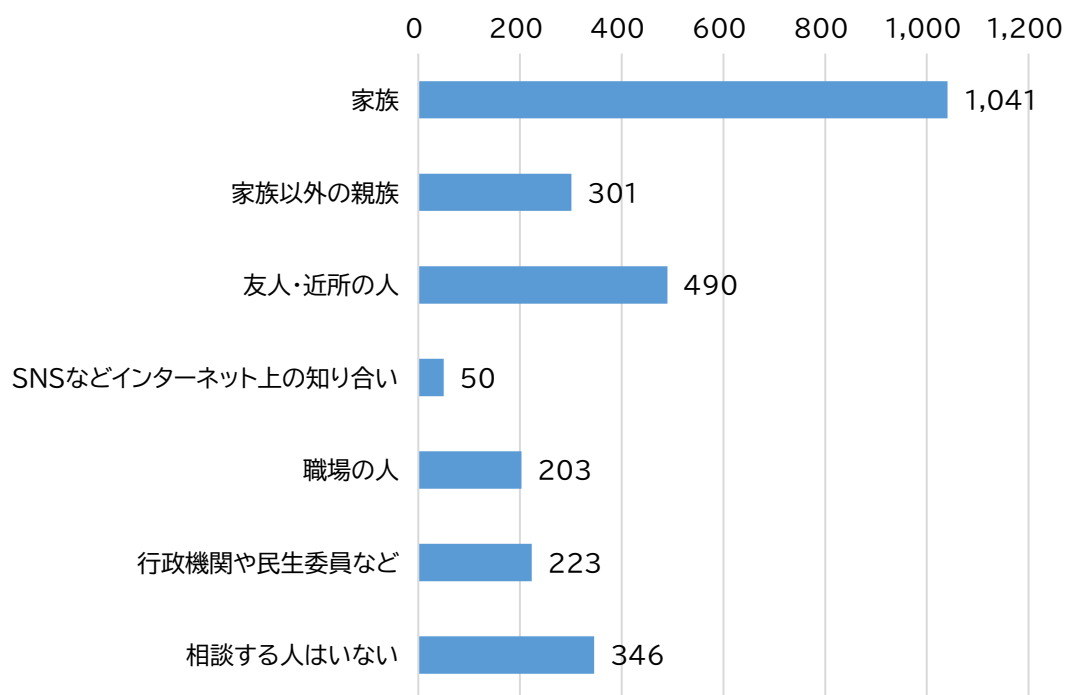


(2) 相談相手について

① 相談相手

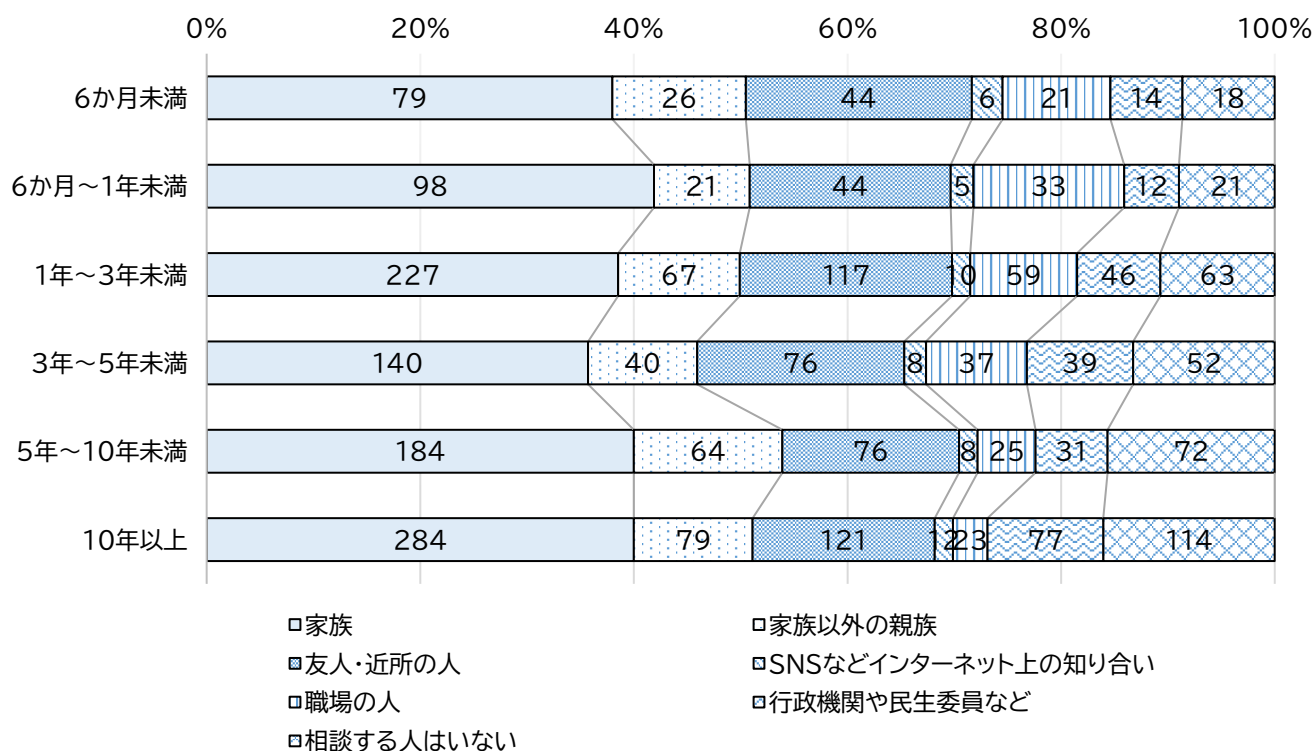
- ・「家族」が62.0%と最も多く、「行政機関や民生委員など」の割合は13.3%だった。

No	項目	回答数	割合
1	家族	1,041	62.0%
2	家族以外の親族	301	17.9%
3	友人・近所の人	490	29.2%
4	SNS などインターネット上の知り合い	50	3.0%
5	職場の人	203	12.1%
6	行政機関や民生委員など	223	13.3%
7	相談する人はいない	346	20.6%
回答者数		1,678	



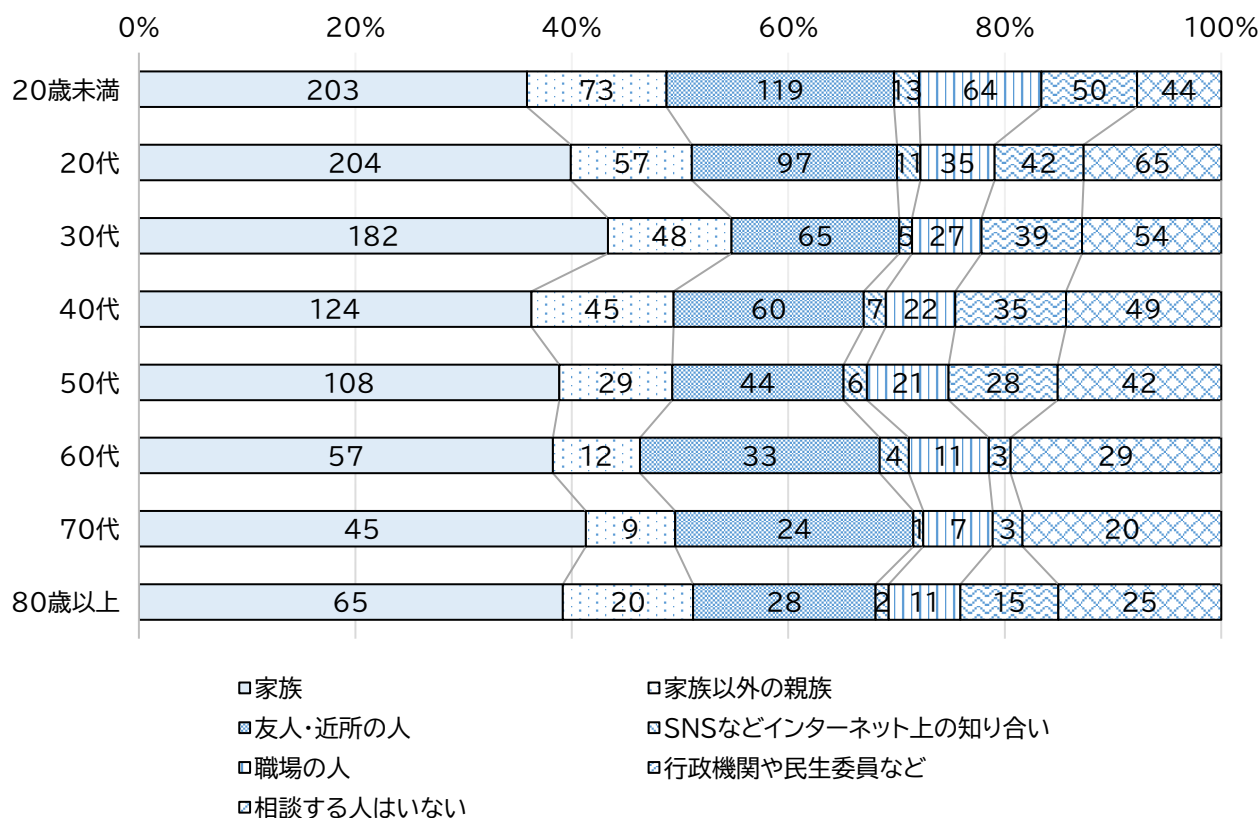
② 「相談相手」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、「家族」が多くの割合を占めている。



③ 「相談相手」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、「家族」が多くの割合を占めている。

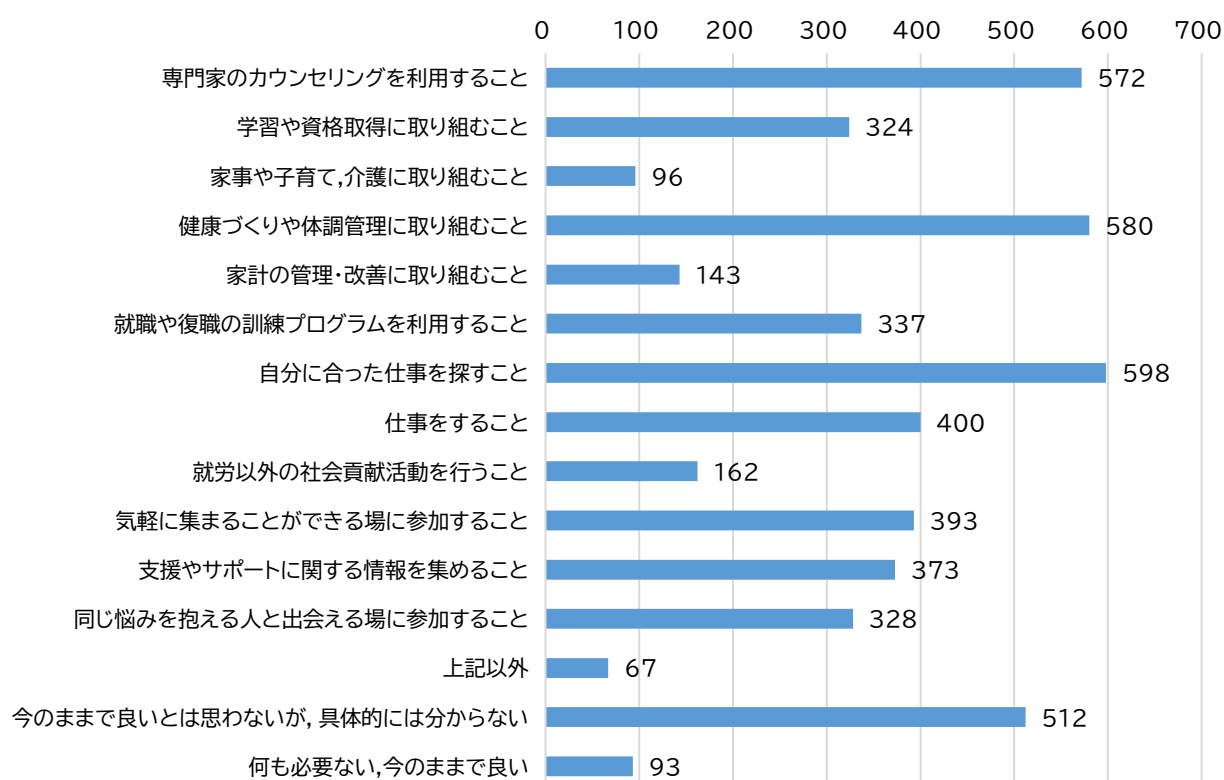


(3) ひきこもり当事者にとって必要と考えることについて

① 必要と考えること

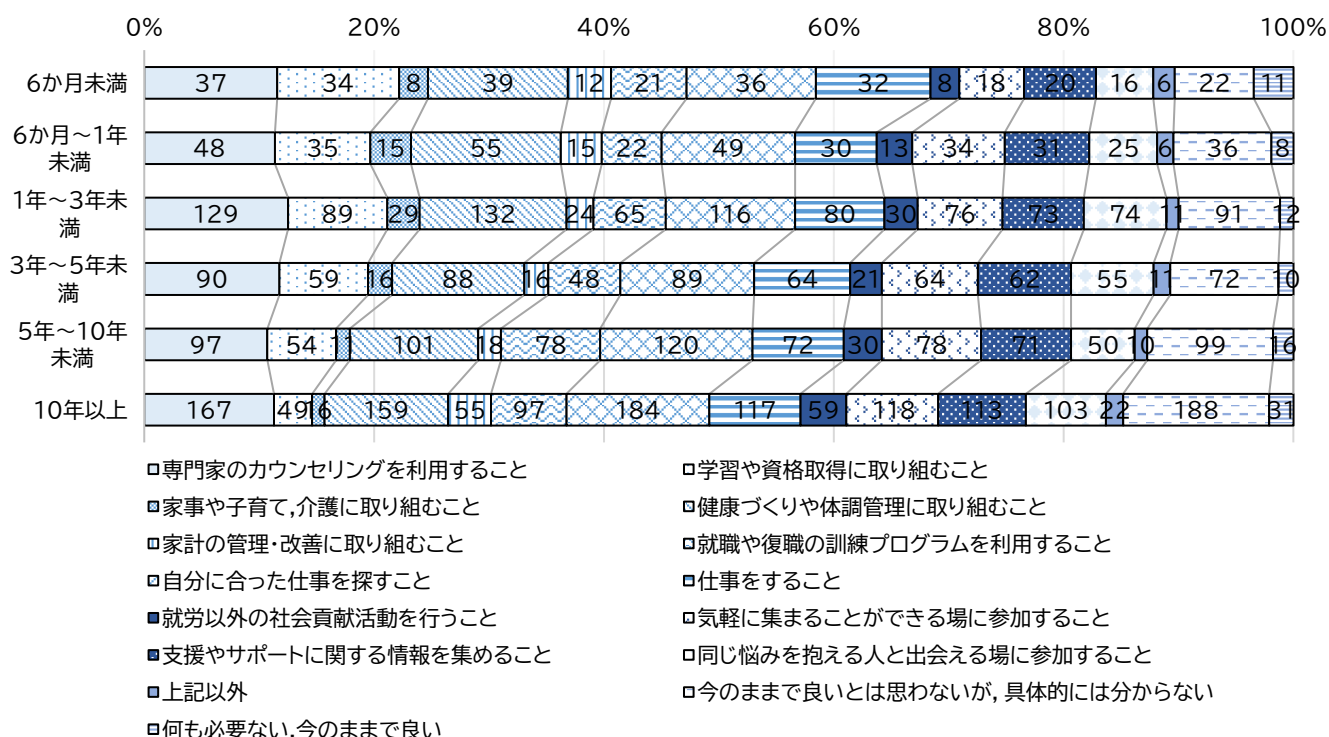
- ・「自分に合った仕事を探すこと」が 35.6%と最も多く、次いで「健康づくりや体調管理に取り組むこと」が 34.6%、「専門家のカウンセリングを利用すること」が 34.1%と多く、ひきこもり当事者に対して家族は就労及び健康づくり、カウンセリングが必要と考えていることがうかがえる。

No	項目	回答数	割合
1	専門家のカウンセリングを利用すること	572	34.1%
2	学習や資格取得に取り組むこと	324	19.3%
3	家事や子育て、介護に取り組むこと	96	5.7%
4	健康づくりや体調管理に取り組むこと	580	34.6%
5	家計の管理・改善に取り組むこと	143	8.5%
6	就職や復職の訓練プログラムを利用すること	337	20.1%
7	自分に合った仕事を探すこと	598	35.6%
8	仕事をする事	400	23.8%
9	就労以外の社会貢献活動を行うこと	162	9.7%
10	気軽に集まることができる場に参加すること	393	23.4%
11	支援やサポートに関する情報を集めること	373	22.2%
12	同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること	328	19.5%
13	上記以外	67	4.0%
14	今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない	512	30.5%
15	何も必要ない、今のままで良い	93	5.5%
回答者数		1,678	



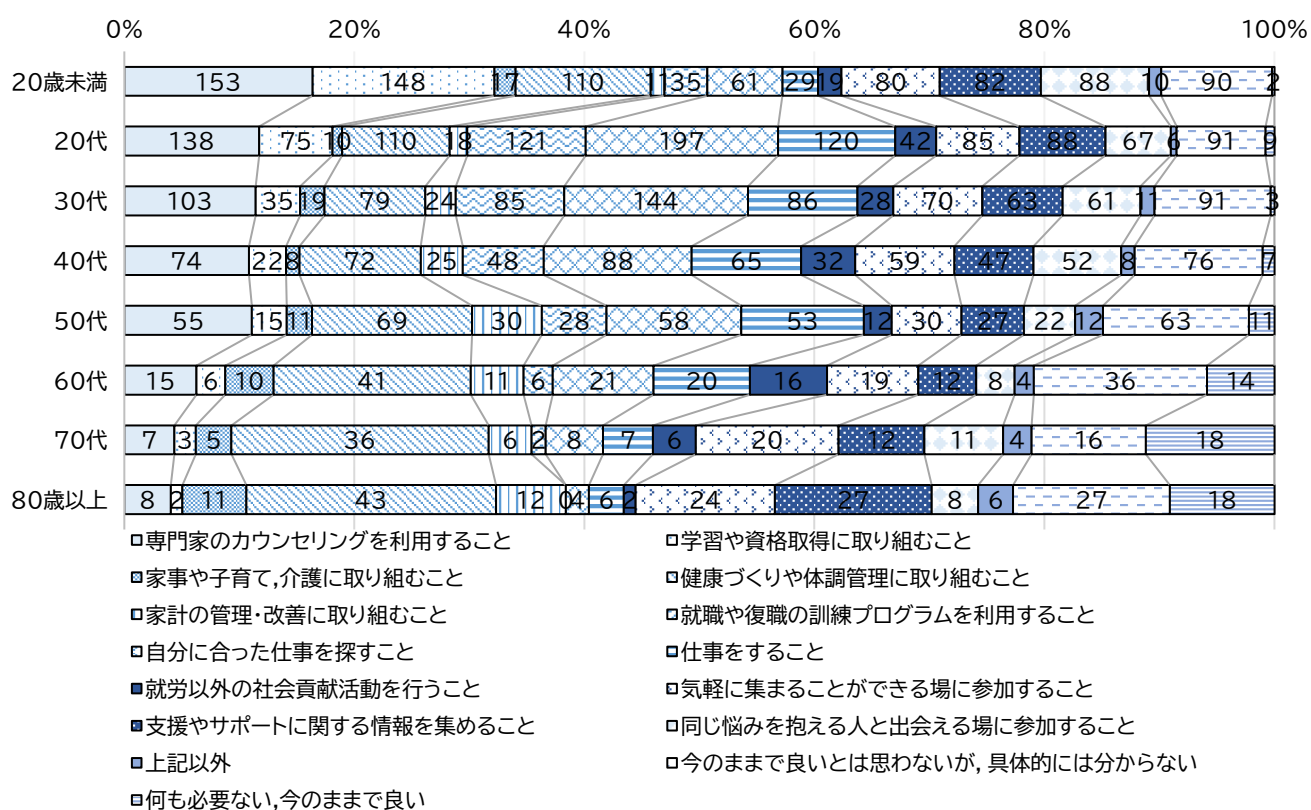
② 「必要と考えること」と「ひきこもり期間」のクロス集計

- ・ 期間に関わらず、「自分に合った仕事を探すこと」、「健康づくりや体調管理に取り組むこと」、「専門家のカウンセリングを利用すること」が多くの割合を占めている。



③ 「必要と考えること」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

- ・ 20歳未満では「学習や資格取得に取り組むこと」が多く、年齢を重ねるにつれ「健康づくりや体調管理に取り組むこと」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

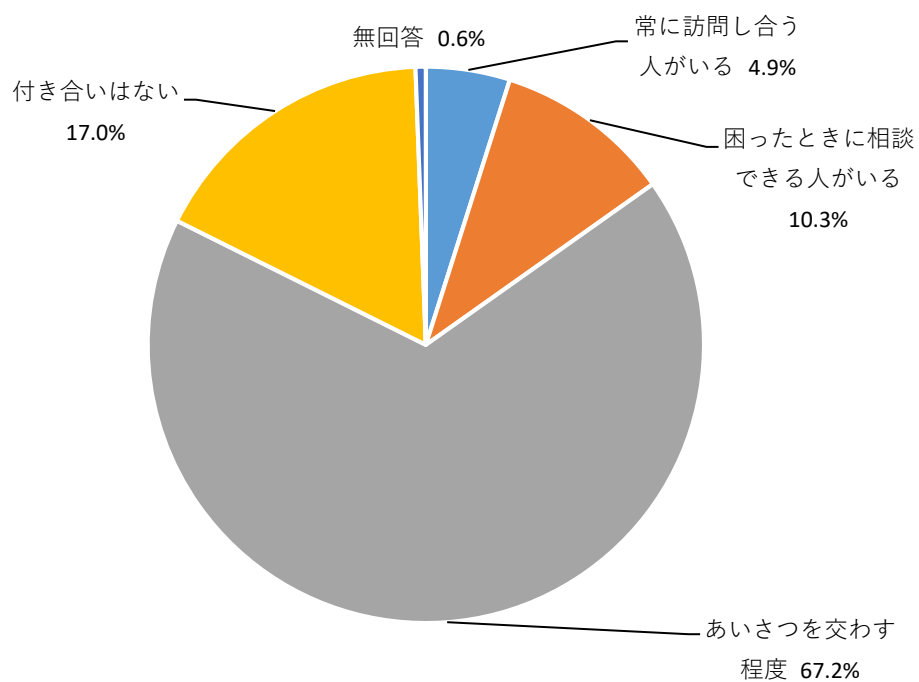


(4) 家族等の近所付き合いについて

① 近所付き合いの状況

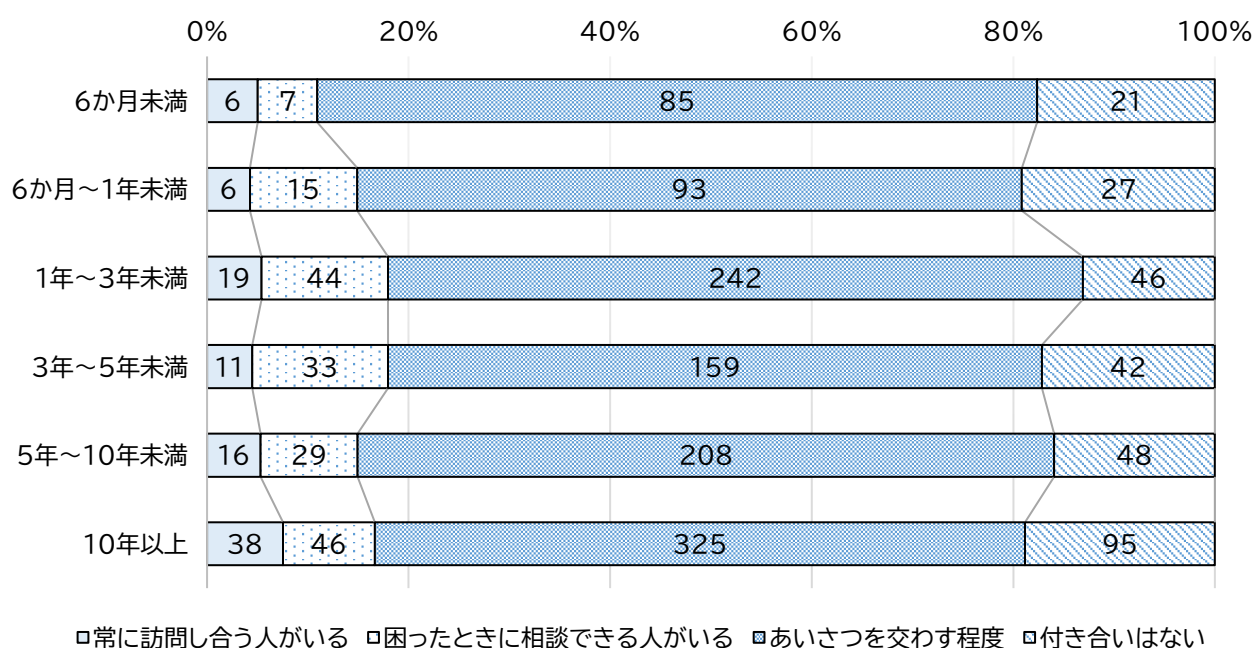
- ・「あいさつを交わす程度」が67.2%で最も多くの割合を占めている。
- ・「常に訪問し合う人がある」は4.9%で最も少ない割合となっている。

No	項目	回答数	割合
1	常に訪問し合う人がある	82	4.9%
2	困ったときに相談できる人がある	173	10.3%
3	あいさつを交わす程度	1,127	67.2%
4	付き合いはない	286	17.0%
5	無回答	10	0.6%
合計		1,678	100.0%



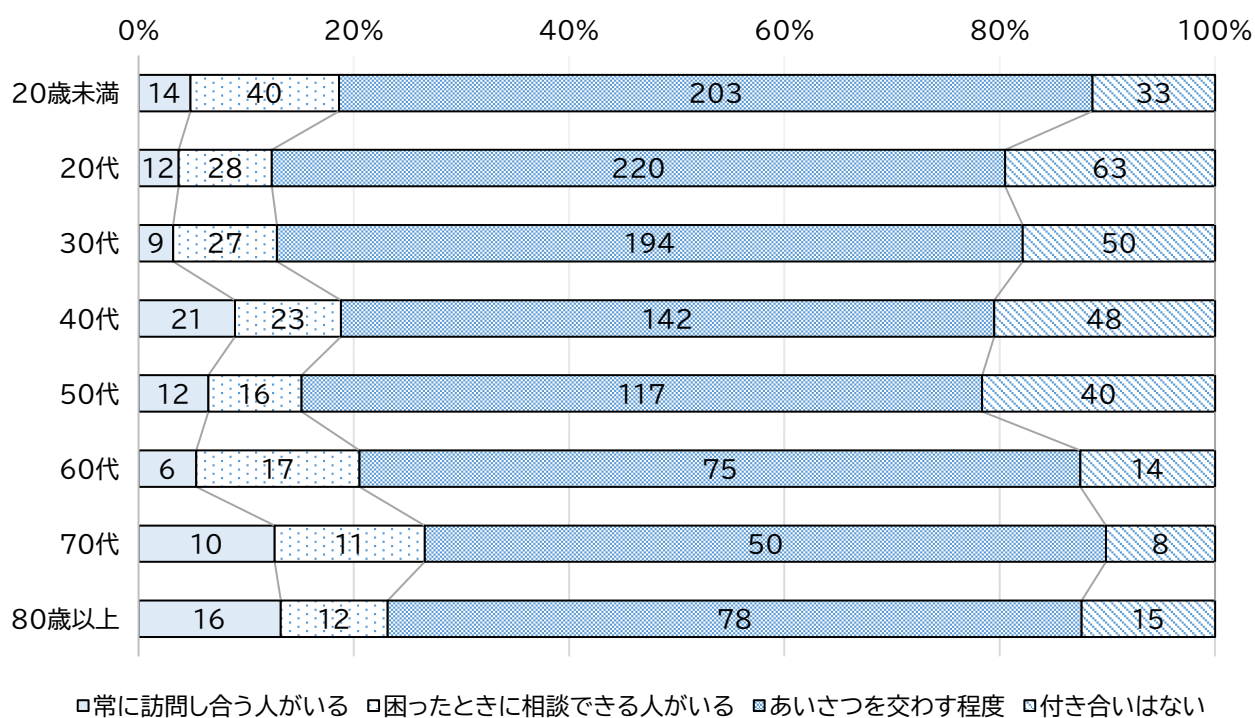
② 「近所付き合いの状況」と「ひきこもり期間」のクロス集計

・期間に関わらず、近所付き合いの割合は変わらない。



③ 「近所付き合いの状況」と「ひきこもり当事者の年齢」のクロス集計

・年齢に関わらず、近所付き合いの割合は変わらない。



第3章 資料編

仙台市からの調査協力をお願い

市民の生活状況に 関する調査

— ひきこもり支援の充実に向けて —

ひきこもりは、日常の身近な出来事がきっかけになることも多く、私たち誰にでも起こり得るものです。

したがって、そのサポートには、ひきこもりをご本人やご家族だけのことだと捉えず、周囲の方々の理解とともに社会全体で取り組む必要があります。

市民の皆さまとともに、誰一人取り残さない社会づくりに向けて進んでまいりたいと思います。

調査へのご協力をお願いいたします。

仙台市長 郡 和子

この調査は、15歳から64歳の方が属する全ての世帯を対象にしています。様々な立場の多くの市民の皆さまからお寄せいただいたご意見をもとに、よりご本人やご家族に寄り添い、安心してご利用いただける支援を行っていくために実施するものです。

皆さまのお声を仙台市にお知らせください。



仙台市
SENDAI CITY

回答方法は以下のとおりです。

- 回答は世帯*のどなたがご記入いただいても構いません。
 - 答えにくい質問には、無理にお答えいただくなくても構いません。
- *仙台市内にお住まいの15歳から64歳(令和5年5月1日現在)の方がいらっしゃる全ての世帯に配付しています。

回答方法

二次元コードを読み込んで、回答フォームに入力してください。

[URL] <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?acs=VOICE>



**インターネット環境がない方は、
返信用ハガキでご回答ください**

- ① 4ページのハガキを切り離してください。
- ② 質問を読み、濃い鉛筆で、該当する番号の○を黒く塗りつぶすか、□の中に、数字を記入してください。
- ③ 記載面保護シールを回答記入面に貼ってください。
- ④ ハガキをポストに投函してください(切手は不要です)。

【回答期限】11月30日まで

個人情報の管理について

- ご回答いただいた内容は、本調査の利用目的以外には使用いたしません。
- 調査結果は、個人が特定されない形で集計し、公表することがあります。

記載面保護シールの下にも質問があります。

I 回答している方全員に、お聞きします

問1 あなたは現在何人で暮らしていますか
____人

問2 あなたは現在どなたと暮らしていますか
(複数回答可)

1. 一人暮らし
2. 配偶者・パートナー
3. 子ども
4. 親
5. 兄弟姉妹
6. 孫
7. 祖父母
8. その他

問3 あなたが日常生活において不安や悩みに
思っている事柄は何ですか(複数回答可)

1. 収入・生活資金
2. 自分や家族の健康
3. 学業や仕事
4. 家事や子育て、介護
5. その他
6. 特になし

問4 あなたは日常生活の不安や悩みを誰に相
談していますか(複数回答可)

1. 家族
2. 家族以外の親族
3. 友人・近所の人
4. SNSなどインターネット上の知り合い
5. 職場の人
6. 行政機関や民生委員など
7. 相談する人はいない

問5 あなたのご近所の方との付き合いについて
お聞きします

1. 常に訪問し合う人がいる
2. 困ったときに相談できる人がいる
3. あいさつを交わす程度
4. 付き合いはない

問6 あなたの世帯で「仕事や学校などに行か
ず、家族以外の人との交流をほとんどしない状
態」にあてはまる方は、現時点で何人いますか
____人

- 「0人」と回答した方は、問16へ
- 「1人」以上と回答した方は、問7へ

問7 この調査票に回答している方は、「仕事や
学校などに行かず、家族以外の人との交流をほ
とんどしない状態」にあてはまる方ご本人ですか
1. はい 2. いいえ

II 問7に回答した方に、お聞きします

- 「はい」と答えた方は、以下の質問は、ご自身のこ
とについて、お答えください。
- 「いいえ」と答えた方は、「仕事や学校などに行か
ず、家族以外の人との交流をほとんどしない状
態」にある方のことについて、お答えください。
- なお、その状態にある方が2人以上の場合は、そ
ううちのお一人のことについてお答えください。

問8 性別をお答えください

1. 男性
2. 女性
3. 無回答

問9 年齢をお答えください

____歳

問10 外出の状況についてお答えください

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する
用事の時だけ外出する
2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには
出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない

問11 現在の状況になって、どのくらいになりますか

1. 6か月未満
2. 6か月～1年未満
3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満
5. 5年～10年未満
6. 10年以上

保護シールのりしろ

問12 現在の状況に至ったきっかけについてお答えください(複数回答可)

1. 不登校
2. 受験がうまくいかなかった
3. 学校でのトラブル
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 職場でのトラブル
6. 友人や家族との人間関係上のトラブル
7. 事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気
8. 新型コロナウイルス感染症の流行
9. 結婚や子育て、パートナーの転勤
10. 東日本大震災による影響
11. 分からない
12. その他

問13 これからのあなたにとって必要なことはありますか(複数回答可)

※ご本人以外の方がご回答いただく場合は、ご本人にとってどのようなことが必要と思われるかを、お答えください。

1. 専門家のカウンセリングを利用すること
2. 学習や資格取得に取り組むこと
3. 家事や子育て、介護に取り組むこと
4. 健康づくりや体調管理に取り組むこと
5. 家計の管理・改善に取り組むこと
6. 就職や復職の訓練プログラムを利用すること
7. 自分に合った仕事を探すこと
8. 仕事をする
9. 就労以外の社会貢献活動を行うこと
10. 気軽に集まることができる場に参加すること
11. 支援やサポートに関する情報を集めること
12. 同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること
13. 上記1～12以外
- 14.今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない
15. 何も必要ない、今のままで良い

問14 上記の必要なことについて、サポートやアドバイスを受けるとしたら、どのような条件があれば利用したいと思いますか(複数回答可)

1. 同じ悩みを持っている人がいること
2. 同世代や同性の人がいること
3. 医師や心理学の専門家がいないこと
4. 公的な支援機関であること
5. 民間の支援機関であること
6. 無料で利用できること
7. 利用できる場所が自宅から近いこと
8. 匿名で利用できること
9. SNSやインターネットで対応してくれること
10. 曜日・時間帯を気にせず利用できること
11. 条件に関わらず利用したくない

問15 専門機関や医療機関などに相談したことはありますか

1. 相談したことがあり、現在も相談している
2. 相談したことはあるが、現在は相談していない
3. 相談したことはない

Ⅲ 回答している方全員に、お聞きします

問16 仙台市が設置・運営する窓口のうち、ひきこもりに関する相談ができることを知っているものについてお答えください(複数回答可)

1. ひきこもり地域支援センター(ほわっと・わたげ)
2. 精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)
3. こども若者相談支援センター(旧 子供相談支援センター)
4. 各区保健福祉センター

問17 ひきこもり支援に関するご意見を自由に記入ください。

市民の生活状況に関する調査 回答票

問1 人 問2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

問3 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 問4 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

問5 ① ② ③ ④ 問6 「0人」と回答した方→問16へ
人「1人」以上と回答した方→問7へ

問7 ① ② 問8 ① ② ③ 問9 歳

問10 ① ② ③ ④ 問11 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

問12 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

問13 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

問14 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

問15 ① ② ③ 問16 ① ② ③ ④

問17

問6で「1人」以上と回答した方は、ひきこもり経験者の声や支援に関する情報をお送りしますので、下記の事項についてご記入ください。

氏名・年齢	(歳)
住 所	
電話番号又はメールアドレス	

仙台市のひきこもりに関連する相談窓口・取り組み

精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)

ご本人やご家族のご相談を心理士や保健師、精神保健福祉士などの専門職がお受けします。また、ご本人のためのフリースペース、ご家族のための家族グループや家族教室も行っています。

【所在地】青葉区荒巻字三居沢1-6 【連絡先】022-265-2191
【時間】平日 8:30～17:00 【費用】無料

* ご相談の際にはあらかじめお電話にてご予約をお願いいたします。

各区保健福祉センター

各区保健福祉センターの障害高齢課(総合支所管内については総合支所保健福祉課)において、精神保健福祉相談員や保健師などがご相談をお受けしています。

【連絡先】下記をご確認ください(各区・支所の代表番号となります)
【時間】平日 8:30～17:00 【費用】無料

青葉区障害高齢課(青葉区役所3階) 022-225-7211
宮城野区障害高齢課(宮城野区役所2階) 022-291-2111
若林区障害高齢課(若林区役所1階) 022-282-1111
太白区障害高齢課(太白区役所2階) 022-247-1111
泉区障害高齢課(泉区役所1階) 022-372-3111
宮城総合支所保健福祉課(宮城総合支所1階) 022-392-2111
秋保総合支所保健福祉課(秋保総合支所1階) 022-399-2111

ひきこもり地域支援センター(ほわっと・わたげ)

不登校やひきこもりでお悩みのご本人やご家族からの相談をお受けします。ご家族を対象とした父親・母親勉強会を開催しています。また、ご本人を対象とした交流の場としてのサロン活動を行っています。

【所在地】若林区遠見塚1-18-48
【連絡先】022-285-3581
【時間】平日 10:00～17:00 【費用】無料

こども若者相談支援センター

学校生活や就労、家庭のことなど、様々な不安や悩みを抱えるご本人(39歳まで)やご家族からの相談をお受けします。また、日中の安定した居場所としてご利用いただける「ふれあい広場」も開設しています。

【所在地】青葉区錦町1-3-9 錦町庁舎2階
【連絡先】022-214-8602
【時間】平日 8:30～18:00 【費用】無料

ひきこもり青少年等社会参加促進事業

主に若年者を対象に、スポーツや行事などを通して利用者の交流を行うほか、就労の準備のためのボランティア体験(清掃活動など)を行っています。

【お問い合わせ先】
ひきこもり地域支援センター(ほわっと・わたげ)まで

中高年ひきこもり者向け居場所支援モデル事業

中高年(主に40歳～64歳)を対象に小グループでのプログラム活動などをしながら、家以外で過ごせる居場所の提供を行っています。

【お問い合わせ先】
おれんじ・すぺーす
【所在地】青葉区堤通雨宮町4-2 朝日プラザエザースⅡ101
【連絡先】080-5844-1098

親なきあと生活設計事業

将来的な経済面で不安や悩みをお持ちのご家族からの相談に応じます。ファイナンシャルプランナーによる家計相談に加え、ソーシャルワーカーによる生活相談を並行して行います。

【お問い合わせ先】
NPO法人障がい者の暮らしとお金の相談室
【所在地】若林区土樋264-1 キャッスル北沢仙台201
【連絡先】080-6937-7267

相談窓口や取り組み、ひきこもり経験者の声などを詳しく知りたい方は、こちらの二次元コード、URLからアクセスしてください。
URL: <https://www.city.sendai.jp/chikisekatsushien/voice.html>



調査に関する 市民の生活状況に関する調査担当(仙台市健康福祉局)
お問い合わせ先 連絡先 022-214-8742(平日 9:30～16:30)
本調査は、内閣府の地域就労支援水戸期世代支援加速化交付金を活用し、実施しております。



郵便はがき

9 8 0 - 8 7 8 3

仙台市青葉区国分町3-7-1

仙台市健康福祉局

市民の生活状況に関する
調査担当 行き

差出有効期間
2023年12月
31日まで
(切手不要)



裏面のとおりに回答します。
(個人情報を記載した場合)
支援情報の送付や個別相談の案内のために個人情報を
提供することに同意します。

仙台市健康福祉局